

第6回藤沢市総合計画審議会

と き 2010年（平成22年）1月24日（日）
午前10時～正午
ところ 藤沢市労働会館ホール

次 第

1 開会

2 議事録確認

3 議事

- (1) パブリックコメントの実施結果について
- (2) 第5回地域経営戦略100人委員会の開催報告
- (3) 新総合計画第一次素案への意見提案の取りまとめ結果について
- (4) 起草部会報告
新総合計画基本構想第二次素案について
- (5) 地域経営戦略100人委員会との合同協議について
- (6) 答申までのスケジュールについて
- (7) その他

4 その他

書記（事務局）
藤沢市経営企画部経営企画課
電 話 (0466) 50-3502
ファクス (0466) 50-8402
e-mail kikaku@city.fujisawa.kanagawa.jp

第5回藤沢市総合計画審議会

と き 2009年12月12日(土) 午前10時
ところ 湘南台市民センター 地下1階ホール

1 開 会

2 議事録確認

3 議 事

- (1) 第4回地域経営戦略100人委員会の開催報告
- (2) 起草部会報告
新総合計画基本構想(第一次素案)について
- (3) 市議会議員全員協議会の開催結果について
- (4) 地域経営戦略100人委員会との合同協議について
- (5) パブリックコメントの実施について
- (6) 「藤沢のこれから、1日討論」(市民1,000人調査・200人討論)の実施について
- (7) その他

4 その他

事務局 本日は、委員数 24 名のうち 19 名の出席ですので、審議会規則第 7 条の規定により、過半数に達しており、会議が成立しておりますことをご報告いたします。

(資料の確認)

前回議事録については、後ほどご確認をいただき、訂正等がありましたら、12 月 25 日までに事務局にご連絡いただきたいと思います。

それでは、これからの議事進行を曾根会長にお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

曾根会長 ただいまから第 5 回藤沢市総合計画審議会を開催いたします。

本日も円滑な議事進行に務めたいと思います。委員の活発なご意見をお願いいたします。

本審議会は公開としておりますので、傍聴者がおりましたら、ご案内をしてください。(傍聴者 2 人入室)

傍聴者は発言できませんので、よろしくをお願いいたします。

前回議事録の確認については事務局の説明のとおりですので、早速議事に入ります。

××××××××××××××××××××××××××××××××××××

議事の (1) 第 4 回地域経営戦略 100 人委員会の開催報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局 (資料 2 参照)

第 4 回の開催日時は、11 月 29 日 (日) 午後 2 時から開催し、基本計画の議論に入っております。審議会に先んじて、地域ごとに生活実感の「気づき」の収集分析をして、4 月以降には重み付けの市民アンケートをしていくことで今進めております。

曾根会長 補足意見がありましたらお願いします。

玉村委員 今日の審議会あるいは合同会議は基本構想の話で、藤沢市としての進むべき地域経営の考え方を整理することですが、100 人委員会では、その先を見据えて、基本構想をつくりつつも基本計画に入っていくように、常に並行しながらやることで、どちらにもいい影響を与えように進めています。そういうスタイルにしておりますので、現時点で基本計画の検討についても入りつつあります。地域ごとの課題というか、気づきを集めてくる。その気づきをさらに深掘りしていくことで、本質的な課題は何か、未来をつくるためには何が必要なのかということを見出す取り組みを始めています。藤沢市の皆さんのすごいところは 13 地区ごとに「気づきを集めてください」というと、「うちの地域では全世帯にアンケートを取ろう」とか、「センターに集まっている人たちに意見を聞く」とか、地域の皆さん、活

動されている皆さんにどんどん聞いてみようということで、積極的に進んでいるところです。更によりよいものにするため、100人委員会というやり方をしたらいいか検討すること、どうやって皆さんの声を聞くかとか、さらにそれをどう分析するかといったことに取り組み始めています。そういう生活実感、活動している実感から考えて、何らかのものを出していくことを体験も進めております。ぜひ、皆さんの身近なところで組み込まれている方がいたら、いろいろな形で支援をいただければと思います。

曾根会長

ただいまの報告についてご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

特にないようですので、(2) 起草部会報告 新総合計画基本構想(第一次素案)及び(3) 市議会議員全員協議会の開催結果については、前回ご審議いただきました新総合計画基本構想(第一次素案)についての議題ですので、一括して進めたいと思います。

新総合計画基本構想(第一次素案)については、前回、一次素案の修正を起草部会にご一任いただきましたので、起草部会で一部修正して第一次素案としました。修正の主な内容と(3) 市議会議員全員協議会の開催結果について、事務局から報告をお願いします。

事務局

11月23日に第4回の起草部会を開催して、各委員会から20項目にわたる意見や提案がありました。それを起草部会で修正いたしました。それでは、12月12日版の資料3でご説明いたします。(資料3参照)

修正、修正箇所はアンダーラインでお示ししております。まず「目次」では、第1章はそのまま。第2章「まちづくりの沿革と取り巻く状況」は、基本構想の土台となる状況ということで、3章にあったものを2章に、資料編は、再度目次だけを整理いたしました。

3ページからは、主に修正した部分を中心にご説明いたします。「私たちの政府宣言」の第1段落の6行は追加をした部分です。

3段落目の6行も大きく修正いたしました。次の段落では、「地域市民」や「コミュニティ」という言葉で整理をしております。

4ページも幾つか訂正しております。後段の「生活者の実感で進める藤沢づくりは大きく変わっております。

5ページ、1行目、2行目が変わっております。後段の「自己責任のもとに」を削除しております。

6ページ、新総合計画の枠組と基本方向では、冒頭の■部分を修正追加しております。

7ページ、実施計画の③短期財政計画の3年を「基本計画を達成するための実施計画(3年)」としております。構成図では、今までは「職員力」

という言葉を使っていたのを「行政力」と変えております。その下の「教育機関」を「大学」に修正しております。

8 ページ、計画策定のプロセスでは、「職員力」を「行政力」「地域市民」に修正いたしました。中段の「新総合計画審議会」以降は、大きく変更しております。3つの丸については、「市民経営」を「行政力」に変えて、市民電子会議室を追加しています。

9 ページ、基本構想の将来像では、次の世代を「いまま未来も」に変えています。下段の図では、「市民経営」を「行政力」に、「基本理念と都市ビジョン」にしております。「カワセミくん」への矢印の中で課題解決のところは、まちづくりの施策、達成度を図る指標化、課題整理と分析に修正しております。

10 ページ、「地域市民」という言葉が修正されております。

11 ページ、中段の「地域経済の活性化など」を追加しております。

12 ページは変更なし。

13 ページ、上4行を大きく変更しております。中段の2段落目の「高付加価値型研究開発産業」を追加しております。

14 ページは変更なし。

15 ページの3と4を入れ替えて、4では「生活環境」を追加しております。

16 ページ、7を大幅に修正しております。7「起業力」は「企業力」に変えました。8の「公共資産の活用」を「公共資産の有効活用」にしております。

第2章は、先ほど申し上げたように、3章にあったものを2章に整理をいたしました。その中で追加した項目は、従来、「土地利用計画」がなかったもので、28ページの5番目に追加しております。

33 ページ、今まで第2章にあった「三層構造のプロセスから発意された「藤沢づくり」の視点と課題」は、100人委員会、わいわい・がやがや・わくわく会議などから出された「藤沢らしさ」や「藤沢の強み・弱み」を総合計画審議会でも議論し、整理してきたかというプロセスの資料ということで、「資料編」としております。

35 ページ、「新たな「藤沢づくり」の視点と課題」の段落を起こして追加しております。以上が第一次素案の修正案です。

×××

引き続き、市議会全員協議会の開催結果ですが、12月2日に藤沢市議会全員協議会が開催されましたので、審議会に先立ち、ただいまの修正案をご報告いたしました。そして5人の議員から27の質疑または意見が出

されました。(以下資料参照) 以上です。

曾根会長 まず、起草部会報告について、部会委員の補足がありましたらお願いします。

川島副会長 起草部会で議論したのは、言葉の定義をつくったこと、100人委員会からの意見を集約して第一次素案に入れたことを確認いたしました。

海老沼委員 特に補足はないのですが、議員の意見にも「あったわかりやすく、平易に」という点については、使い慣れていると皆さんもご存じとっていたので、配慮をさらにしていきたいと思います。

小松委員 前回の審議会でいろいろ指摘された言葉についてはかなり議論したので、よくなったと思いますが、構想の段階なので基本計画になれば、もうちょっと議論ができる点は増えると思います。

玉村委員 読んでわかるものとしてもう少し丁寧な説明が必要かと思いました。

曾根会長 それでは、改めて委員の皆さんから一次素案についてご意見をお願いしたいと思います。

塚本委員 前回の意見を前向きに、積極的に取り入れ、練り直されたという点はわかりませんが、「私たちの政府宣言」は長いのではないかと。少なくともA4 1枚に収めないと、2ページの3段目あたりも何かまどろっこしいという感じがする。コンパクトにまとめる検討をしていただけないか。

曾根会長 宣言文だから、簡潔にわかりやすくというご指摘かと思います。

塚本委員 基本構想と基本計画が同時並行で、その先には実施計画というプロセスがある中で、総合計画をどの目線に合わせてつくるかという視点での議論が必要ではないか。今のところはどこに視点があるのか、かたまっていない。議員全員協議会は多く市民の声を聞く立場だから、いろいろな意見がある。当然起草部会の人たちもハッと気づかされるような点も出てきたと思う。これからはどこに視点を置くべきかの議論をすべきではないか。

曾根会長 素案を修正する中で、この新総合計画は何のためにつくっているのか、藤沢の現状を見て、将来に布石を打つために今から10年後を目指している基本的な計画であるとか、これは何であるということを入れておいた方がいいかと思います。

塚本委員 どこに視点を置くかと言えば、当然、藤沢市民に置くべきだと思う。藤沢市民とは0歳から100何歳までいるわけだが、少なくともどこの世代に主たる目線を置くのか。多世代にわたる計画にするのか、これも現実的ではない。そうすると、どこの世代を中心にするか、メインになるラインを決めたら、もう1つ、2つぐらいあってもいいかと思う。これまでの計画の中でも「概要版」というのが出るが、概要版は分かりやすく、易しくという視点が入ってくる。いわゆる中身等の難しいものを概要版で分かりや

すくコンパクトにまとめることによって、広い世代にターゲットが広がる。

もう1つは、市長が100センチの目線ということを言っているが、中学生ぐらいの、次代を担う児童生徒をターゲットにした「キッズ版」というか、中学生版をつくって、見ればわかるというもので、丁寧に表現をしていく。全員協議会でカタカナ語が多くてわからないという意見もあったが、その辺の意見も全部集約できるのではないか。それはどこをターゲットにして議論をするということを整理していけば、そういった問題もクリアになるのではないかと思う。

曾根会長

この総合計画は何年ぐらい先を見据えた計画なのかという問題と、表現方法としてどのぐらいの世代、例えば中学生が読めるような文章にすべきかという2つのことをお話されていると思います。何年ぐらい先の藤沢というのは一本ではいけないと思います。例えば高齢者世代に焦点を当てると、将来世代の子どもやその先の世代が抜けてしまうと、年金とか環境問題では2050年の話をしなければいけないので、2020年、2030年では足りない。将来というのはかなり考えた上で絞り込んで、今の時点でまとめて手打すべきことを整理するという事ではないかと思います。

表現の方では、今の新聞記事は中学生が読めるようにと想定しているのですが、とても中学生が全部読みこなせるとは思えない。しかし、内容は無理としても表現は全部わかるようにすることはある意味、必要なかなというご指摘かと思います。

渡辺委員

長いのは確かだが、素案ですから、当然、これから先いいものができていくと思うが、札幌市だったか、都市計画について漫画を利用してわかるようにしている。これだけ立派なものをつくるんですから、みんなに知ってもらおうということでは、そういう形もいいかなと思う。

広海委員

前回、言葉の説明ということを行ったので、今回の修正版はその分長くなったかなという気がします。しかし、長すぎるということがありながらも大分よくなったという印象です。しかし、何度も何度も読んでようやくわかってくるというところは否めない。例えば中学生ぐらいにわかるかどうかというのは無理かなという気がする。ある程度年齢層を分けて、子どもたちにもまちづくりとか大人のやることに、小さいうちからいろいろなことに興味を持たせるように、漫画で示すというようなことは大賛成です。

修正版の10ページ、11ページ、「地域経営を進めていくための3つの基本理念」は、四角で囲ったところがそれぞれの理念だと思うが、1、2とそれぞれ数字が出てくるので、どれが1で、どれが2か、目安で混乱する。これは掲載の問題です。

それから12、13ページの「都市ビジョン」は、3つの基本理念の次に

来るものとして、どういう流れになるのかわからない。それがさらに 15 ページ以降に、9つの項目が出てくるが、基本理念からどういうロジックの展開で9つの展開になったのか流れがよくわからない。例えば理念があって、それを具現化するためのさらに突っ込んだプロセスなのか、どういう脈絡があるのか。さらにその9項目の順番はどういう意味を持っているのか。どういう流れで1があって、2があって、例えばスケールの大きい方から小さい方へとか、どういう流れになっているのかということです。

曾根会長

今のご意見は、表現の部分ではなく骨子に関わる問題ですが、7ページの絵図を見ていただいて、内容の細かいところを事務局にお話いただきたいと思います。

事務局

7ページの「総合計画の構成」の部分では、総合計画そのものは原則として基本構想と基本計画、実施計画で成り立っているが、基本構想は基本理念、方向性を示し、実質的には基本計画の中で実現のための基本的な方向性や達成すべき具体的な姿をきちんと出して、それを実施に移すのが実現のための具体的な施策が実施計画であると整理しております。ですから、基本構想というのは、将来像を掲げて、どういう理念をもとに、どういう考えでつくっていくのか。それを受けて具体的には実施計画に移るとするのが1つです。もう1つは、実現のための具体的な施策と方向は、基本計画も含めて実施主体は行政だけではありません。市民あるいは地域団体が担うもの、大学、ボランティア、企業、NPO、行政が担うものと役割、責任が分かれてくる。こういうところはこれから整理していく。そういう中で、今、基本構想等については、3つの地域力、市民力、行政力の中で進めていこうという1つのフレームに基づいて、将来像を9ページで提案して、将来像を支える3つの基本的な理念と方向性を示していく「都市ビジョン」と、これから基本計画、実施計画で考えるときの目指す方向性として9つの柱を整理させていただきました。ただ、15ページの目指す方向性の柱立ての順番をどういうふうに整理していくかは、課題としたいと思いますが、都市ビジョンと新たな9つの柱は14ページにもありますように、幾つか都市ビジョンを具現化していく手がかりの方向性としてジャンル別に整理させていただきました。

曾根会長

15ページの9つに集約した考え方について、補足がありますか。

玉村委員

前回の議論とか起草部会の中でもいろいろ議論して、それぞれの都市ビジョンがあって、それを踏まえて9つということになっているが、例えば「都市ビジョン」というのは、「市民の力が育てる生活充実都市ふじさわ」とか、「さらなる可能性を追求する創造発信都市ふじさわ」と、それぞれ何とか都市藤沢という趣旨を検討していくと、環境行動都市と言え、環

境だけでなく行動するということもあるし、地域と一緒に歴史とか文化資産を考える観点を加えれば、より深みを増して、それを実践しているためにはどういったことが必要かといった検討をして、3本の柱でそれぞれに3つ、計9つに整理がされたという背景があります。

曾根会長 基本理念の3つが細かくなって「都市ビジョン」となっているわけではない。並列的にあって、その両方の内容をもう少し細かくすると9つになる。なぜ9つになったかとか、この1、2、3がどれに相当するのかは、かなり読み込まないとわからないということがありますので、そこに関しては表現上の工夫がもう少し必要かもしれません。

杵淵委員 「都市ビジョン」の3つの中で、3-3に、1から9となっているが、もっとわかりやすく、これからやっていくということで、例えば1市民力を育てるとか、2地域から地域に広がる環境行動都市とか、具体的に書いてあるけれども、わかりにくい部分が多々あるので、ここの部分に3-3の部分で落とし込めればいいのではないかと。ビジョンと後ろの部分がわかりにくいので、もっとわかりやすくするのであれば、ここに落とし込んで具体的にしたい方がよろしいと思う。

曾根会長 14 ページで、「生活充実都市ふじさわ」は1、2、3に相当し、「環境行動都市ふじさわ」は4、5、6に相当し、「創造発信都市ふじさわ」は7、8、9に相当すると一応図式しておりますが、その分け方が違うと言われれば修正しなければいけないけれども、3-3というのは9つのことで、3-2は都市ビジョンで、3-1は基本理念ですが、これのつながりをというご意見で、数字の表現の仕方を大項目、中項目、小項目へ割り振るのをわかりやすくした方が理解しやすいというご指摘かと思えます。

広海委員 14 ページの図を見て初めて流れがわかるので、この図をもう少し改良して、理念のところからビジョン、15 ページ以降の3-3の9つの項目の流れがわかるように図示しておいて、それらの項目を述べるといいと思う。

曾根会長 図、表の書き方の工夫をすると、都市ビジョンの前の方の基本理念とのつながりがうまく接続するようになると、読む人はわかりやすいということだと思います。今のご意見は構造の部分、骨組みですので、スケルトンはしっかりつくっておきたいと思えます。

次に、全員協議会の方のご意見を審議会の方で承るとした点を改めて説明してください。

事務局 12月2日の議員全員協議会の質問に対して、事務局が審議会に引き継ぐと言ったところをご説明します。(資料4参照)

2ページ、「行政と市民」という記載、行政と市民のパートナーシップ

について、市民の主権者として見たときに、行政と並列でよいのかでは、市民と行政にすべきではないかというご意見。また、「市民一般を対象にするのであるから、英語表記と日本語表記を逆にすべきである。」では、3つ英語が出ておりました、日本語を書いて（英語）とするべきとか、「誰が読むのかを念頭に、もう少しわかりやすくしてほしい」という大きなご意見がありました。

3ページの上から3つ目、「～が必要である」について、インパクトや意気込みはわかるが、日本語には幾つかの表現があるので、全体の表現を整理してほしい。例えば14～15ページの「藤沢づくりの目指す方向性」の整理もわかりやすくしてほしい。これについては総合計画審議会にお伝えしますと答えております。

4ページの下から2つ目、「平和、基地問題は計画の柱に入れるべきである」は、行政側は15ページの3-3の4つ目の柱の「共に生き、共に創る地域社会の創出」でうたわれているので、基本計画の段階でいろいろ議論していく問題かと思いますが、これも審議会にお伝えしますと答えております。

曾根会長

行政と市民を並列ではなく、市民の方が上位ではないかというご意見ですが、いかがでしょうか。異論がなければ、「市民と行政」に変えたいと思います。

英語表記と日本語表記は逆にというのは、「Think 何とか、Act 何とか」というのは、英語といっても既に日本語になっていて、どこの自治体でも使っているものです。日本語を頭に持ってくると語呂が合わなくなるので、入れるか、入れないかのどちらかだと思います。ただ、3つあった方がいいと思って、「Think Fujisawa, Act together」は私が勝手につくりましたので、ほかは使っていません。語呂合わせを入れるか入れないかは趣味の問題になると思うので、1つは、藤沢を考えようと、考えるだけではなくてみんなと一緒にやろう。2つは、将来のことを考えないと今行動できない。3つはローカルのことをやろうとしているけれども、グローバルな問題も抜きにできないということで、課題設定としては悪くはないと思う。ただ、英語が気にいらないと言われたらそれまでですけども、これについてはいかがですか。

塚本委員

英語表現はいいけれども、意味がわからない人もいるので、どういう意味か注釈なり*印をつけて、欄外で解説するという丁寧さがあれば何ら問題ないと思います。

佐賀委員

「PDCA」は行政用語でなく、民間用語が流れてきた言葉であって、過去の文書は行政用語的な横文字が多いが、民間から取り入れた部分は使

った方がいいと思う。ただ、わからない方もいるので、注釈を入れるといい。それから「Think future」とかはキャッチフレーズなので、わかる、わからないではなくて標語的に入れる。かえって注釈を入れるとおかしくなる感じもするので、専門的な用語については説明するが、一般的な言葉は日本語に変える方がかえって意味がわからなくなってしまうということもあると思う。

曾根会長

P D C Aについて朝日新聞に書いたときに、訳語をつけてくれて言われて、困ったことがあったけれども、プラン、ドウ、チェック、アクションを日本語にすると、とんでもない変な言葉になる。朝日新聞が訳したのは日本語の方が定着していない。P D C Aは外国語ではなくて日本の品質管理であって、生産現場では当たり前の言葉なんです。それなのに行政の方が吸い上げて、企業も行政も使っている。これを訳せというのは大変で、混乱するので、このくらいはお許しいただきたい。しかし、いきなり「P D C A」と出ると、何のことか戸惑う方がいるかもしれないので、同じページの中に「P D C A」とは、民間発がなぜ行政で使われるようになったのかといった囲みがあるとわかりやすいかもしれない。それから「Think 何とか、Act 何とか」も語呂合わせで出すと、方向性の話はわかりやすくなるという囲みがあるといいかもしれない。英語のところは工夫の問題です。

川島副会長

以前、子どもたちが環境問題で、道ばた落ちているごみを拾う。それが「Think globally」、環境、地球につながるのは大事な要素だと思う。それが日本語だけだと弱いと思う。市民一人ひとりが自然のうちにごみを拾ってごみ箱に捨てるという行動が大事ではないかという話をしたと思います。

今、小学校4年生から英語教育をしっかりとやっておりまして、発音もいいし、ネイティブの先生と日本語の先生がしっかり言葉を解釈しながらやっている。こういうマニュアルに出てくれば、何だろうかという話題にもなるし、子どものころから英語と日本語の対応がうまくいくのではないかと思いますので、採用したらいいと思う。

曾根会長

それでは、この言葉は工夫するという事で残すことにいたします。

それから「平和、基地の問題を計画の柱に入れるべきだと思う」というのは、総合計画を書くときに憲法をどうするという話は無理ですが、「Think globally」なんです。それぞれご意見があるのをローカルレベルに落とすと、どういうことになるのか、そういう問題ですので、これを一気にそれが平和・基地ということには取れんしないと思います。企業的なグローバルなことを考えている方もいるでしょうし、アメリカのトランス

フォーメーションを真剣に考えている人がいるかもしれませんが、そういう点でこのテーマに落とし込まれるのかというのは、少し疑問に思うけれども、「共に生きる」というところで十分表現されているというご意見もそのとおりだと思います。もっと表現をしてしまえば 20 世紀の話ではなくて 21 世紀の話をしている。つまり課題が相当 21 世紀型になっているし、つくりも 21 世紀型になっている。21 世紀でもかなり先進のつくり方で行っているし、その中の課題というのは相当 20 世紀の課題とは違うと思っております。21 世紀型の課題の中でかなり先進的な課題を取り入れているので、ものによっては陳情型の話とか、20 世紀型の課題の要望の方もたくさんいると思いますが、その要望を全部取り込むと、せっかくのつくりが先進的なつくりをしているのに後ろ向きになってしまうということもあるので、ここは、「Think globally」で処理したいと思います。

それから「必要である」というのが幾つも出てくるのは書き方が悪いからで、もう少しメリハリのある文章に修正しろというご意見ですので、直せるところは直した方がいいと思います。

ほかにお気づきの点がありましたらお願いします。

佐野委員

8 ページの図ですが、一番上に丸の「行政力」があるのでなく、一番下に置いたらどうか。

曾根会長

丸の書き方ですが、下から上に登っていく書き方でもどちらでもいい。つまりこれこそがまさしく「私たちの政府」そのものなんです。私たちは政府をどう考えていくか。下から市民が積み上げて政府をつくっているという図にするのか、上に市民がいて、市民が命令したものを行政があって、それに何かやらせているという図になるのか。この図の書き方は全体の構成に関わる問題ですので、少し工夫をする。これは全体の課題ですので、別の方法を考えると、いい知恵を出したいと思います。

ほかになれば、全員協議会のご意見を参考に、さらに午後から行われる地域経営戦略 100 人委員会との合同協議あるいはパブリックコメントも出てきますので、この先ご意見をいただきながら、基本構想の二次素案をお諮りしたいと思います。作成は起草委員会にご一任いただいでよろしいでしょうか。（「異議なし」の声）

ご異議ありませんので、起草委員会の方、よろしく願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

曾根会長

次に、(4) 地域経営戦略 100 人委員会との合同協議について、事務局から説明をお願いします。

事務局

本審議会終了後、午後 1 時から総合計画審議会と地域経営戦略 100 人委員会との合同協議のタイムスケジュールと考え方についてご説明いたし

ます。(資料5参照)

次に、合同協議に当たっての総合計画審議会の基本的な考え方について((資料5-2参照) 合同協議はきょうを含めてもう一回予定しておりますが、その趣旨は、(1) 対面による対等な意見収集と意見の確認をする。総合計画審議会は、100人委員会などからの意見提案を受けて基本構想を練り上げていく役割を担い、100人委員会は、基本構想の新鮮な素材を情報提供する役割を担う。このことから合同協議の場において、総合計画は両者の対等な立場での「顔が見える意見」の収集、意見の内容の確認を行うという重要な役割を担っています。

(2) は、第二次素案策定のための意見収集ですが、合同会議で出された意見を第二次素案策定のための意見として整理する。いわゆる質疑応答方式でなく、各グループに分かれた意見集約の結果に対して会長などからコメントをいただく方式で、当日の意見を踏まえ総合計画審議会の中で第二次素案の策定に向けて議論を行う。

(3) 合同協議における意見収集の方法では、7~8名を1つのグループに分けて、ワールドカフェ方式で行った意見を整理して、代表的なものを各グループから意見提案を行い、残った部分もきちんと整理して総合計画審議会に提出し、また、100人委員会にもお返しをしたい。グループ討議が始まったときには審議会委員さんも議論の風景などご覧いただければと思います。以上です。

曾根会長

合同会議には委員の皆さんにもご参加いただきたいのですが、審議会委員が議論に加わるとか、答えるということはありません。あくまでもどんな議論が進んでいるかをオブザーバー的な立場でご覧いただくということですね。

事務局

そうです。

曾根会長

玉村委員、注意点等ありますか。

玉村委員

コーディネーターとして検討していて、今回の場合、100人委員会の皆さんが話し合っ、そこから出てきたものをリストアップして、それをさらに審議会で検討するという段取りになると思います。100人委員会の皆さんは今、思ったことについて、どう思うのかとか、いろいろ聞きたくなると思うけれども、我々としては役割の違いがあつてやっていると思っていますので、審議会はそれを吸い上げて責任を持って案にしていこうという役割の違いでやることと思っていますので、雰囲気を見ていただいて、各テーブルには職員が記録を取っていますが、書きとめていただくなどしていただければと思います。そういう様子を見ておくことも検討に役立つのではないかと思います。

曾根会長 ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。
 ないようですので、午後からの合同協議についてよろしくお願ひいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

曾根会長 (5) パブリックコメントの実施について、(6)「藤沢のこれから、1
 日討論」の実施について、説明をお願いします。

事務局 (5) パブリックコメントの実施については、広報にきょうの修正版を
 もってパブリックコメントを実施していきたい。12月14日から1月13
 日で、経営企画課、市役所受付案内、市政情報コーナー、各市民センター・
 公民館で配布し、市のホームページでもパブリックコメントをご覧ただ
 ける体制をつくっております。意見などはファックス、持参、ホームペー
 ジからでも提出できます。そしてそれらを整理し、審議会にご報告させて
 いただきたいと思ひます。したがって、公聴システムは、電子会議室を通
 じて100人委員会と同じような「藤沢らしさ」についての集約が終わって
 総合計画審議会にお出したわけですが、いよいよ第一次素案についてパ
 ブリックコメントと市民1,000人調査や200人討論が行われます。

 今まで100人アンケート、1,000人討論を藤沢市と慶應大学DP研究会
 とで議論してきて、「藤沢のこれから、1日討論」を行います。(資料7参
 照)

 藤沢の未来や地域の活動に関心を持っていても、実際の活動になかなか
 参加する機会がない市民に、新総合計画への意見をいただくことを目的に
 開催するものです。藤沢市は1日討論については、事前にアンケートを行
 って、それについて「討論会へ出席していただけますか」という案内状
 を出して、それに参加していただいた方にグループ討議、全体討議をや
 って当日、1日かけてアンケート調査をやって、全体として討論型世論調査
 という形で市民の考えをまとめていきたい。事前アンケートについては無
 作為抽出をした20歳以上の市民3,000人を対象に、アンケート用紙を送
 付しております。締め切りは12月18日となっております。昨日の時点で
 180名ぐらいの方から返信があつて、関心が高いと思っております。

 討論会では参加者の意見や識者の見解などから、参加者自身が実行して、
 その結果を収集することで、初めて日本で行う成熟した世論を把握するこ
 とができるのではないかと。また、副次的効果として気づきや実行に基づく
 意識の変化などが予想されることから、地域経営会議や地域での活動への
 市民参加の意欲を盛り上げていくのではないかと思っております。

 現在の状況としては、12月4日に事前アンケート及び討論会参加者の
 調査票を送付して、今月18日に締め切り、その後、希望者への案内をし

て、討論資料を事前に送付して、来年1月30日（土）に討論会を開催する予定になっています。今、藤沢市と慶應大学DP研究会の共同でいろいろな作業を進めておりまして、2月6日予定の第7回審議会でご報告をさせていただきますと思います。

これはアメリカのスタンフォード大学と提携してやっております、非常に技術開発したシナリオをそのまま使いますので、今まで藤沢市ではやっていないのですが、世界中でこの手法を使うときには、仕事や子育てで来られない、なかなか関心が持てなかったという人に来ていただくということで、1つのルールとして参加謝金をお出ししながら、1日かけて行います。（アンケートについては資料参照）

曾根会長
川島副会長

ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

アンケートの結果、討論の結果はいつごろ出るのか。アンケートを2030年に向かっていく途中でチェックするとなったときに、継続性があったアンケートの内容なのかどうか。それとも結果だけなのか。

曾根会長

内容の公表は、アンケートが終わって数日後ぐらいに回答の比率などをウェブもしくは新聞、報道機関に公表する予定です。詳細なデータ分析は、インプットが済んだらスタンフォードの方に送ります。彼らが従来の方法を使って、学術的な調査の検討をします。慶應大学でもやりますが、彼らは今までやってきたデータの処理の仕方をそのまま使います。それと今後これをやるのかどうかということですが、1回やるには相当お金がかかるので、今回は1日バージョンで非常に短くやっています、藤沢市民ですから、交通費等もそれほどかからない、わりと簡易的にやっていますが、同じような形で、基本計画ができてきたときにもう一遍やってみたいと思っています。来年8月ぐらいに、またサンプリングかけます。ですから、違う人が集まって同じようなことをやる予定です。ただ、200人から集まり、海外からもオブザーバーが来るし、マスコミ及び議員などもオブザーバーで見たいというと、200人集まっているのに後ろに150人ぐらいいたりする。それを想定しているのも、非常に関心が高いと思います。内容的にスタンフォード、テキサスと3カ所を電話でつないで、1時間ほどやりましたが、神奈川DPが終わった後、フィースキンとラスキンという考案者と実務をやっているアーリスと私の4人で2時間半ぐらい藤沢のことについて相談しました。彼らは22カ国、同時通訳でやったことがある。そういう国際的なものもやっていて、同時に藤沢のことを聞いていて、彼らはものすごい教育です。特にフィースキンは、1月30日は来れないので、日にちを変えてくれと言うぐらい興味輪持っている。もう一遍やるなら、そのときはすぐに教えてくれと、日程を開けておくというんです。そうい

う意味で言いますと、新総合計画を審議会の中の一部に位置づけて、しかも1回でなく数回繰り返すようなことは外国でも例がない。議論している内容、特に方向性で市民がどちらを選ぶかなんていうことを聞いて、それを討論するなんていうことも、学者なら当たり前ですが、すごい興味を持っている。私は前から「先進性」と言っているけれども、行政の先進性なんです、学者が見てもすごくおもしろいことが発見されると予測されているので、それを推進してきた学者の興味を満足させるというか、高い興味を持っているということをご報告しておけば、どういう意味なのかということがご理解いただけるとと思います。

塚本委員

わくわくする話の後に恐縮ですが、謝礼の5,000円の財源はどうなっているのか。それから1つ懸念するのは、市民参加という観点で見たときに、地域経営会議の人たちは公募なり、ボランティアで出てきて、多大な時間を割いて、総合計画の策定に使っているのに、この無作為抽出で選ばれた方々は謝礼が出るということに関して、もしこの5,000円が税金であれば市民に与える公平性に関しては議論がある気がします。

それから無作為抽出は20歳以上だったけれども、世代間のアンバランスはなかったのか、20代が多かったとか30代が多かったとかということはあるのかなのか。

曾根会長

無作為抽出というのは国勢調査の結果と同じ結果が出るはずですが、統計誤差はほとんどないはずなんです、回答の方はわかりません。抽出はランダムサンプリングをしている限りは藤沢の人口構成と同じようになるはずですが。

事務局

1番目に関しては、今回、1,000人討論を行うに当たって、先般、慶應大学と地域包括協定を結ばせていただいたという前提で、慶應大学DP研究会などと業務契約をいたしまして、慶應大学の方に1,000人討論に必要な経費、会場等の準備をお願いします。藤沢市としては人的支援ということで、当日はいろいろな職員も参加しながらやっていきたいと思っております。

それからきょう、この後の100人委員会の委員、地域経営会議の委員、藤沢市内で行っているすべての委員会がボランティアであるということは、重々わかっております。そういう中で、スタンフォード大学がつくった仕組みの中で、世界中でもボランティアでやっている地域の活動団体もある中で、1日だけ、なかなか参加できない、まちづくりや市政に参加したくてもできない人に、その時間帯だけ割いていただいて、1日、朝の9時から晩の5時半まで集中的にやるということに対して、先に実施した事例なども踏まえながら、これは1つのルールの中に入っていますので、こ

の件に関してはそのようにさせていただきたいと思っております。

塚本委員
曾根会長

要するに世論調査にかかる経費と思えばいいわけですね。

もう少し補足しますと、世論調査のフォーマットに違和感をお持ちの方もあると思います。例えばページ2のところで、何で10段階なのかと。これは世論調査手法でフィースキンとラスキンが、こういう尺度をととても好むんです。学問的には私と少し立場が違うけれども、彼らはスタンフォードのやり方でフォーマットを決めているので、尺度をもっと細かくしろと、例えば問2でさえ10段階の尺度に従っている。それはやめてくれといつもバトルをしています。妥協できる場所で妥協しているというふうにご理解いただきたい。謝礼の件ももっと増やせば参加者はもっと増えるはずだから増やせというけれども、そこは待ってください。日本には日本の相場があって、裁判員制度というのはこのくらいの額でやっているし、多すぎても少なすぎても難しいということで妥協している。一応フォーマットの中での妥協できる範囲で処理しているということをご理解いただきたいと思います。

原委員

1月30日に1日討論会が予定されているが、どんな意見交換をするのか、事前のアンケートをもう少し掘り下げていくような意見交換なのか、基本構想の一次素案とかパブリックコメントなどの議論もされるのか。また、傍聴はできるのか伺いたい。

曾根会長

討論のアウトラインはできておりませんが、日本語ではできていて、これからスタンフォードの方とシナリオについてはやり取りします。私が持っているシナリオは、午前中に「藤沢の今」つまり今何が問題で、何をどういうふうに変えたらいいのかということが1つのテーマです。多分、二通り答えがあると思います。今、こんなにいいんだからもっと伸ばせという人と、悪いから直せという人と二通りあると思います。その論点整理があった上で議論している。これがいいという人も、あれがいいという人さまざまです。ただ、そこは議論として深掘りしたい。今後は、これからどうしたらいいのという「藤沢のこれから、未来」を議論したい。議論の方向性はそういうことですが、素材は何かというと、基礎データを、それこそ中学2年生が読んでわかるように、今、一生懸命読みやすくしています。そういう資料をつけた上で、論点整理をつけた資料を送って、事前に少し考えていただいて、方向性を議論することが、素案そのものを議論の対象にするつもりはありません。1つの世論調査の手法として何を今望んでいるのか、これからの将来、何を考えているのか、ただ、世論調査と連携していますから、その世論調査は審議会で議論していることと連携していますから、ダイレクトではない。ただ、間接的にはそこから出てきた答えは

利用できる。あるいはかなり我々が確認したいことについて、反応が出てくるのではないかと思います。ただ、これは予想です。

オブザーバーに関しては、事前登録制でお受けしたいと思います。委員の皆さんが参加したいとき、あるいは議員もマスコミもかなり来ると思います。ただし、オブザーバーが入れる部屋は限ると思います。どこでもご自由にどうぞということではなくて、例えばビデオ撮影は嫌だという人は別の部屋、つまりオブザーバーが入らない部屋で議論をしていただく。かまわないという人の部屋は少し大きめの部屋にしておいて、後ろでそっと見ていただく。基本的にはこれは社会実験ですので、実験室の中にどさどさ土足で入り込んで、ビーカーを振り回したり、フラスコの中に手を突っ込んで困るということはありませんけれども、議員の方が後ろにいたりすると、いささか意識する方がおいでになるかもしれません、気にしない人は気にしないグループとしてつくって、その後ろにいてもらえばいいのではないかと考えております。関心のある方はかなりいると思いますので、事前に申し出があればご参加いただいかまわないと思います。ただ、200名を超えるときには、討論者が200名でオブザーバーが200名というのはバランスが悪いので、多少の制約はあるので、全部というわけにはいきませんが、オブザーバーはそこそこの数と考えております。

川島副会長

スタンフォードとかテキサス大学のホームページで、模擬討論会について見れるんですか。

曾根会長

スタンフォード大学、それから「センターフォー・デリバラティブ・デモクラシー(CDD)」というウェブサイトを開くと、世界中の過去の35事例が詳細に載っております。ここがこの情報の集約基地です。

加藤委員

「200人討論、1日討論」は、広報ふじさわに載せられているので、多くの方が関心を持って討論していただくことは大事だと思うのですが、幅広い方、例えば私のところに運良く来れば参加できるけれども、討論に参加してみたいという市民に対して、別枠として参加していただくことはできないのかどうか。というのは、100人委員会にも登録を試みたけれども、残念ながら、入れていただけなかったもので、討論にぜひ参加したいという意思のある方に対して、アンケートが来なければ参加できないというところをもう少し改善できないのかどうか。

曾根会長

これは別種類の調査になりますので、スキームは全く壊れるので、申しわけないが、サンプリングをするという前提は尊重しないと、結果が出て何も言えなくなってしまう。統計的処理をしても、「あんな、何をやっているの、そんなデータ誰も信用しないよ」でお終いなんです。ですから、サンプリングは尊重して、その中から当日参加の人、希望者を募っている

わけです。もっと話したいという人がいたら、それは別途考えるということしかないと思います。それは別企画としてやるかやらないかは審議会の仕事ではないと思いますので、市当局と相談して考えたいと思います。

以上が、きょうの議事の内容ですけれども、そのほか、事務局から連絡事項がありますか。

事務局

次回の日程ですが、1月14日(日)午前10時から、場所は労働会館になります。当日は100人委員会との合同協議を午後1時から3時まで、労働会館ホールを予定しております。

曾根会長

以上で、本日の審議会を閉会いたします。

午後0時2分 閉会

パブリックコメントの実施結果について

1 計画等の案の名称

「藤沢市新総合計画 基本構想（第一次素案）」について

2 意見の募集期間

2009年（平成21年）12月14日（月）から2010年（平成22年）
1月13日（水）まで

3 意見提案の対象者

市内在住・在勤・在学の方，市内に事業所等を有する方，その他利害関係のある方

4 意見の提出方法

任意の用紙により，郵送，ファクス，藤沢市ホームページの意見提出フォーム
のいずれかにて提出

5 意見提出の状況

(1) 提出人数（方法）

3名（藤沢市ホームページの意見提出フォームから提出されたもの）

(2) 案件数（項目数）

10件

(3) 意見提案の内容等

別紙のとおり

No.	件名	内容	回答(事務局案)
1	一次素案に対する個別の意見について	<p>「いまも未来も住み続けたいまち」は、どのような状態の将来像／姿を求めるのかが、漠然としています。受け取る人によって、その想いは、様々なるのではないのでしょうか。市民として、他の都市と比較して住み続けたいという実現したい価値、特色を訴求すれば、より魅力的な将来像になると思われれます。例えば、文中の表現を借りれば、平凡ですが「暮らしやすさと豊かさの溢れるまち」というような表現の方が直接的でわかりやすいと思う。或いは、藤沢市の違いを際立たせるために「海と緑と人に魅せられるまち」などが一例です。サブタイトル～環境・歴史・文化・人のネットワークづくり～(15ページ参照)を付け補足するのとも一方法と思います。</p>	<p>将来像は、20年後の藤沢のめざす姿のイメージを表現したものです。市民、地域と行政が協働して「藤沢づくり」を進め、より多くの市民の皆様が暮らしやすさや豊かさを実感でき、将来に渡って「住み続けたい」と感じられることをキーワードにして定めたものですのでご理解ください。</p>
2	一次素案に対する個別の意見について	<p>表現の問題ですが、「独自」というとエゴのニュアンスがチラチラと垣間見られますので、「織りなす個性あふれる地域づくり」の方が実現価値としては、より適切と思われれます。</p>	<p>「独自の地域づくり」は、各地区が自主自律に基づき、地区の特色や個性、ニーズを踏まえた「地域づくり」を行うことを理念として掲げたものです。自主自律を基本として、地区の市民の皆様の声聞きながら個性を輝かせる「地域づくり」を、地区の意思決定において進めるという面で、画一性と対比して「独自性」という表現としておりますのでご理解ください。</p>
3	一次素案に対する個別の意見について	<p>(方向性をどこのビジョンに位置づけるかによって今後の基本計画・実施計画を左右する重要なものと考え、提言しています) 方向性の一つとしての「共に生き、共に創る地域社会の創出」については、13ページで、都市ビジョン「地域から地球に広がる環境行動都市「ふじさわ」とリンクさせています。「市民の力が育てる生活充実都市「ふじさわ」にリンクする概念とした方が良いと思われれますが、いかがでしょうか。そのビジョンの説明文では、環境の概念を広く解釈して社会環境も含めていますが、地域社会の創出を含めることは、一般市民から見ると無理があると思われれます。それよりも、生活充実都市の一つの方向性として、かつ地域社会の果たす意義の重要性に鑑みて、生活充実都市の中の方向性の一つとしてリンクした方が適切と思われれます。そうした意味では、環境行動都市の「環境」の概念を整理すべきものと考えます。 この基本構想は、現状認識として成熟した地域社会であることを前提として、論理が構成され、市民力、地域力の発揮を期待しているものと思われれます。実感では、地域経営で求める力は、地域団体活動や文化・サークル活動等で求められるものとは、その質が大きく異なっているのではないのでしょうか。ある程度の問題解決力、マネジメント力等の資質が求められます。現実を意識して、期待される地域力をお互いに学びながら活動するというのが本来の姿ではないかと思われれます。従って、地域力をお互いに学ぶという方向性を強調するためにも、リンク換えの提言をいたします。</p>	<p>都市ビジョン「地域から地球に広がる環境行動都市「ふじさわ」」では、次世代に引き継ぐ自然環境はもとより、社会環境、生活環境などを含む、幅広い環境の大切さを表現しています。 方向性としての「共に生き、共に創る地域社会の創出」では、人権、平和、多文化共生、環境共生等を想定しており、地域において地域経営会議が中心となって市民や団体の意見を聞き、問題解決力やマネジメント力を発揮しながら「地域づくり」を進めていく先には、地域にとどまらない優しく穏やかな自然、社会、生活環境が創出されると考え、この方向性を「地域から地球に広がる環境行動都市」に位置づけたものですのでご理解ください。</p>

No.	件名	内容	回答(事務局案)
4	藤沢市新総合計画基本構想(第1次素案)	<p>「藤沢づくり」の目指す方向性の中に、市民と協働して地域経営に当たるとか、地域力市民力による安全な暮らしなどと書いてあります。それはこれまで以上に市民の力を活用して市政運営に当たるといことでしょうか。</p> <p>そこで活用される市民の立場で意見を述べたいと思います。</p> <p>・行政と市民が対等な立場に立って協働するためには、市民側に圧倒的な情報不足があります。藤沢市はこれまで情報公開に力を入れてきましたが、まだ足りないところ、使用方法が複雑すぎるところがあります。これまで以上に徹底した情報公開と、簡便な方法による情報開示を求めます。基本構想に市民力を活用するとあれだけ書いてあるのですから、情報公開のこともきちんと示さなくては一方的のように思えます。</p>	<p>ご意見のとおり、情報の提供、共有は重要な理念であると考えており、「基本理念2 市民と創る「自律するまち」の行政システムを構築します」の中でも明らかにしているとおりに、市民の皆様との情報の共有化に努めていく行政を想定しておりますのでご理解ください。</p>
5	藤沢市新総合計画基本構想(第1次素案)	<p>・市民が市政に関する学習をする機会を増やしてください。これからは労力奉仕だけではなく、市政に意見を届ける必要も出てきます。そういう力をつけるために、市民は学習が必要です。現在行っている、市職員に対する研修や審議会委員の研修などを一般市民に公開にすれば実現できると思います。(この項目は、基本構想ではなく基本計画や実施計画に入るかもしれません。)</p>	<p>地域経営会議では「地域でできることは地域で考え、地域で実行する」ことを基本にしており、地域経営における「学習と成長」の視点は重要な要素であると考えております。従いまして、様々な状況を捉えて市民の皆様への学習の機会の提供に努めていく行政を想定しておりますので、ご理解ください。</p>
6	藤沢市新総合計画基本構想(第1次素案)	<p>・基本構想は、正直なところ大変わかりにくいものです。基本計画や実施計画を策定するときは、ぜひ公聴会を開いてください。</p>	<p>新総合計画の策定においては、市民力、地域力、行政力を発揮し、様々な仕組みを駆使しながら進めております。今後の地区別まちづくり計画に当たっては、地域経営会議と市民センター・公民館が、地区の市民の皆様の声聞きながら進めることとしておりますので、ご理解ください。</p>
7	住民の意見を聞く姿勢をもっと	<p>「私たちの政府」宣言も、基本構想も、市民が何らかの活動に参加すれば「市民力」「地域力」といった事により、地区内の事には影響力を持てるような事は書いてあります。しかし、藤沢市の施策や事業や投資などの中では、「市民力」「地域力」以外のものが、予算規模などから依然として大部分を占めるのでしうし、それら大部分の施策や事業や投資などに対し、行政が市民の声を聞いたり尊重すべき事などがまったく書いて無いというのは、どうも市民に利益が乏しいと思えます。</p> <p>たとえば、宣言は、「行政は市民と協働してより効率的、効果的な運営を行うため、徹底した行政改革に取り組む一方で、藤沢の将来にとって必要と思われることに対しては、積極的に投資するなど、生活者の実感でメリハリのある戦略的市政運営を進めます。」と結ばれているわけですが、藤沢の将来にとって「必要」か、「必要」でないか、判断するのは、行政なのか？市民なのか？書いていないし、市民の意見を聞く事も書かれていない。今後行政は、市民の多数が「必要」でないと思う投資も行う、と宣言しているようにも読めます。</p>	<p>新しい総合計画は、市民力・地域力・行政力をあわせた新たな仕組みのもとに策定を進めているところです。</p> <p>藤沢の将来についての判断は、この新総合計画においては、基本計画の策定に際して行う課題の重み付けの中で、市民アンケート等を踏まえて検討するとともに、地域づくりにおいては、地区の市民の皆様の声聞きながら合意形成を図ることを想定しております。</p> <p>また、実施計画においては、各地区ごとにまちづくり実施計画を策定する予定であり、行政事業のみならず、地域で考え、地域で実行する事業、地域で市民の皆様の声聞きながら有用であると判断した事業を選定することとしています。</p>

No.	件名	内容	回答(事務局案)
8	住民の意見を聞く姿勢をもっと	3-2. 地域、市民と行政がめざす20年後の都市ふじさわの姿の中には、さらなる格差社会の拡大、市民の生活の苦しさ、を想定せず、それに対処する藤沢市、という姿勢も見出せないのも疑問です。	この基本構想では、人口減少や少子高齢化、厳しい経済状況による雇用問題などを前提として、「1. 市民の力が育てる生活充実都市」において、市民一人ひとりが生活の充実が感じられる都市を目指すこととしています。
9	住民の意見を聞く姿勢をもっと	3-3. 「藤沢づくり」のめざす方向性」の中にも、格差社会というのは意識されてないと思います。たとえば、6 地球温暖化防止など地球環境への未来投資を進める「藤沢づくり」には、産官学による協働と連携によって最先端の環境技術、といった大掛かりなものは書いてありますが、もっと身近な、自転車を走りやすく停めやすい町にする、などを、この構想を書いた人達は、思い浮かばないのは不思議です。 また、地域経営会議の存在が、総合計画の前提にされてしまっているのも変ですが、そのあり方の問題についても、何も触れられていません。たとえば、委員の人選の問題。市役所が選ぶのではないらしいが、では、その選考委員を選ぶ人選は、市役所が行っているのでは。また、活動出来る人は、そもそも生活に余裕がある人に多い、という問題。そして、無償で活動している人が、自分がやりたくない事について、市民からの要望あるからといって実行できるか、という問題。	この基本構想では、人口減少や少子高齢化、厳しい経済状況による雇用問題などを前提としており、格差については、「3 地域力・市民力による安全で安心して暮らせる「藤沢づくり」」「4 共に生き、共に創る地域社会の創出」において、一生安心して暮らせる環境と共に生き、働き、学ぶ環境というところで認識をしております。 地域経営会議については、市民主体のまちづくりを進めていく上で重要なものであると考えております。 地域での事業は、自助、共助、公助に基づき実施されるものであり、地域経営会議は地域の市民の皆様の声を聞きながらまちづくりを進める機関であることをご理解ください。
10	住民の意見を聞く姿勢をもっと	最後に、この基本構想に欠けていると思うのは住民投票もあります。 市の施策に対し、賛成なら賛成、反対なら反対、といった、市民が住民投票で決める権限を持つ事こそ、真の市民経営ではないでしょうか？	住民投票については、地方自治法の権利義務事項には当たりませんが、市民の皆様の権利を保障するものとしては、別に議論していくべきものと考えておりますので、ご理解ください。

第5回地域経営戦略100人委員会の開催結果について

第5回地域経営戦略100人委員会においては、基本計画策定に当たって必要となる「気づき（生活実感や活動実感）」の収集について、既に収集を開始している地区の実施状況を発表した。

(開催概要)

1 日時

2009年12月12日（土） 午後3時15分～3時50分

2 場所

湘南台市民センター体育室

3 議事

「ふじさわ未来課題」の収集状況について、4地区から発表を行った。

(1) 片瀬地区

地区全世帯、地域団体、公民館利用サークルに配布する。公私立学校、幼稚園、保育園にも配布する予定である。障害者等ハンディキャップをもった方にも配布したいと考えている。回収は市民センターへの持参、ファクス、郵送で行う。

(2) 長後地区

地域各種団体、公民館サークル、児童クラブ(保護者)、PTA、老人クラブ、商店街連合会、農業従事者等に配布するとともに、地域月刊紙に掲載し意見を募集する。回収は、配布団体での取りまとめと市民センターへの持参、ファクス、郵送で行う。

(3) 善行地区

各団体等を通じて、地区在住、在勤者及び各種地域資源利用者等に依頼していく。回収箱を設ける方法も考えている。

(4) 湘南大庭地区

自治会長・町内会長及び会員、地域団体役員等、地区内中学校生徒（2校）に依頼する。特に中学生には、大人と異なる視点での意見に期待している。

新総合計画基本構想（第一次素案）に係る意見提案等

合同協議（12月12日）

No.	区分	件名	内容	改善提案	回答(事務局案)	出展	分野
1	意見		構想としては良いが、もう少しテーマをはっきりさせたい。		文章や構成について再度検討し、分かりやすものといたします。	p14-2 ~4	フレーム
2	意見	市民力・自律のイメージの説明不足	・市民が、どこまで応え、求められているのか疑問である。 ・一部のひとだけではなく、参加しない人に対する働きかけはどうするか。 ・力になれる市民がどれだけいるか。	・具体的に結果(減税など)を提示していく。 ・有償ボランティアを導入していく。(ギブアンドテイク)	基本構想においては、目指す方向性を示すにとどまり、具体的な施策の手法等については基本計画、実施計画において検討することとしています。	p8	フレーム
3	意見	数値の具体的な目標とその戦略	今後も厳しい財政が予測されるとあるが、それに対し具体的にどのような戦略を立てていくかを十分に論議することが必要。民間であれば、数値目標を立てて、それを目標化していく。	例えば人口について、具体的にどの程度を目標にするのかを考えていく。	基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。	p27	フレーム
4	意見	人口減少社会に対して	・具体案を提示 ・少子高齢化により、就労年齢も変わってくる。(65歳以上が3人に1人) ・外国人の人口の増減	・若い人の雇用を増やしていく(学校や産業の誘致をしていく) ・高齢者の内訳を具体的に出していく。	人口減少については、「私たちの政府」宣言で言及するとともに、第2章で具体的な人口推計モデルを掲載しています。	p21	フレーム
5	意見	「人」が見える基本構想	これまでは行政がコンクリートに象徴されるような「モノ」をつくることで豊かさを求めている。これからは、市民力によって「人」とのかかわりの中に豊かさをつくり出す(教育・家族など)のように流れをシフトさせたい。		地域、市民と行政の自立によって、持続可能な地域社会、地域経営を確立することにより、主体的な実行力と協働を求めています。	p9	フレーム
6	意見	グローバル化をいかに考えていくか	「人・モノ・情報のグローバル化」とあるが、全国的な問題として、いかに考えていくか、他都市の現状も視野に入れていくことが必要。	市民レベルで他都市との協議をすることもできるか。	全国的な現在の動向と将来予測を踏まえ、検討しております。その結果として、広域的な連携については、理念に盛り込んでおります。	p30	フレーム
7	意見	地域力	地域間格差につながらないか不安である。	行政の舵取りが必要	地域の特色や個性を活かしつつ、地域のことは地域で考え、地域で実行することを前提としております。		フレーム
8	意見	若い人の力を取り込んでいけるようなつくりにしてもらいたい。	地域にどのように若い人の力を取り入れていくのか。若い人たちにもいろいろな考えがあるはず。年齢、地域にとらわれずに、どのように市民力を引き出していくのか、つかめるような内容に。		「どのように」という部分については、「何を」「誰が」という記載、コストについての考え方と合わせて基本計画で表していきます。基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。		フレーム

No.	区分	件名	内容	改善提案	回答(事務局案)	出展	分野
9	意見	行政力がどのように発揮されるのかわからない。	今後、高齢化、人口減少、地方分権が進む。地方分権が進んだ時に行政力がどのように発揮されていくのか示して欲しい。		「どのように」という部分については、「何を」「誰が」という記載、コストについての考え方と合わせて基本計画で表していきます。基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。		フレーム
10	意見	地域・地区からの意見をまとめて「市」のものとして欲しい。	例えば御所見。意見のスタートがそもそも違う。「格差」というものを考慮して行って欲しい。	文化・格差の違いを認識して、各地域、地区からの意見をまとめて欲しい。	地域の特色や個性を活かしつつ、地域のことは地域で考え、地域で実行することを前提としております。	p15-5	フレーム
11	意見	焦点を絞るべき	基本構想が総花的で何を指すのか見えないので、焦点を絞ってはどうか。		新総合計画の基本構想は、部門別の計画とは異なり、課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。		フレーム
12	意見	地域経営会議の機能 予算要求等の課題	地域経営会議の位置づけ特定される業者から見積を取るなどの手法は一般的に分からない。仕組み、スケジュールを明確に、オープンに示さなくてはいけない。		地域経営会議の具体的な取組手法については、地域での検討に基づき進めているところであり、常に改善をしていくこととなります。基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。		地域経営会議
13	意見	本庁から地域への不安	予算と権限移譲について、余計に経費が膨らむのでは。地域経営会議と自治会との関係が不明		予算等の経費につきましては、選択と集中を行い、サービスと費用の適正化を図りつつ実施することで、コストを抑制しつつ実施できるものと考えております。また、地域経営会議は、自治会や地域団体の意見要望等を踏まえ、各地区の意思決定機関として機能することを目的としております。	p5	地域経営会議
14	意見	責任の所在	予算と権限を持たずには必ず責任が伴う。地域力、市民力は重要であるが、責任の所在を明確にすべき。地域責任とは？	市が責任を負うなどの明記	地域経営会議は、自治会や地域団体の意見要望等を踏まえ、各地区の意思決定機関として機能することを目的としております。予算執行権は有しておりません。基本計画の策定において、地区アンケートを実施するなど、意思決定に際しては、事前調査や住民集会等による意思決定過程を踏まえていただくことを期待しております。	p5	地域経営会議

No.	区分	件名	内容	改善提案	回答(事務局案)	出展	分野
15	質問		地域経営会議のメンバー、運営方法などが明確になっているのか。またそれがいつ公表されるのか。		地域経営会議の委員については、2009年(平成21年)10月に全地区で地域経営会議が発足したことに伴い、委嘱しています。市政情報コーナー等で委員を確認することができます。運営方法については、各地区での検討を進めているところです。		地域経営会議
16	質問		地域経営会議と各自治会との関係は。		地域経営会議は、自治会や地域団体の意見要望等を踏まえ、各地区の意思決定機関として機能することを目的としております。		地域経営会議
17	質問		メンバーは地域に相応しい代表が選出されているのか。(公民館に良く来るメンバーだけではないか。)		地域経営会議の委員は、地域団体の代表や地区での公募により選ばれた委員により構成されております。		地域経営会議
18	質問		メンバーにはマネジメント力が必要だが、その面で教育し、リスクを回避すべきであると思うが。		地域経営会議の委員を対象に、公共施設マネジメントや環境、産業、交通等の地域課題に応じた研修会を開催しております。		地域経営会議
19	意見		領域・テーマに限らず、他のグループとも同じ内容を扱うこともあるので、グループを合同にする方法もあってほしい。		地域経営戦略100人委員会の今後の進め方の中で検討してまいります。		その他
20	意見	市民力を活かした基本構想を	地域経営戦略100人委員会の頭脳を活かしきれていない。情報をきちんと開示すれば、100人委員会の頭脳で検討することができるのではないか。	オープンにできる情報をオープンにしていく。その上で構想の検討を	今回の基本構想については、様々な会議体からの情報を踏まえ、総合計画審議会において総合的専門的見地を踏まえ、策定することとしております。		その他
21	意見	100人委員会の意見をしっかり分析して欲しい。活かして欲しい。	過去に何回も足を運んでいる。その際の意見が全く活かされていない。素材をしっかり分析してまとめて欲しい。言葉の羅列に過ぎない。まるでモルモットのよう。	審議会での集約をきちり行行って欲しい。	「らしさ」は「資料編」にまとめ、「取り巻く状況」と将来動向を踏まえ、総合計画審議会で「めざす方向性」にまとめています。今後の基本計画における更なる検討に向けて、網羅性を高めたことから、具体的な記述をしておりません。「らしさ」は再度、「気づき」とともに基本計画の情報となります。また、「めざす方向性」から布石としての「(現)基本理念(戦略に変更)」、「めざす方向性」から見えてくるビジョンを「都市ビジョン」、「都市ビジョン」がすべて実現したときに表出する都市イメージを「将来像」として示しています。 基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。		その他

No.	区分	件名	内容	改善提案	回答(事務局案)	出展	分野
22	意見	会議の進め方	それぞれ会議に向けての委員の共通認識が違う。各団体の代表としての意見ではなく、各個人の意見を述べる。地域ごとにバラバラの意見、バラバラの方向性。予算の見通しが欲しい。方向性に検討がつかない。商店街の発言力が強く、小さな声を拾うのが難しい。	各営利団体の(商店街等)の代表として予算を取り合うのではなく、個人の意見を大切にしたい。地域どうしの連携。くらまちの発展的解消なのか、別物なのか、認識を統一したい。予算を各地域で譲り合う。予算を前提としないで、地域の人員の力で進めていく考え方が必要	地域経営戦略100人委員会では、各団体の意見に加えて委員や市民の方からの意見収集を行っています。地域経営会議については、意見提案の仕組みであつたらし・まちづくり会議を発展的に解消し、「地域のことは地域で考え、地域で実行する」ことを目的とした組織として位置づけたものです。予算については、市民センターへの権限の委譲とともに、地域での暮らしやすさに主眼をおき、選択と集中を前提に進めてきたいと考えております。その中で、コミュニティビジネスや民間の力も活用した新しい取り組みがなされることを期待しております。	p9	その他
23	質問		領域・テーマの中でも分野・幅が広すぎるため、グループ内の討論に限界がある。グループの枠を自由にできないか。		地域経営戦略100人委員会の今後の進め方の中で検討してまいります。		その他
24	質問		扶助費とはどういう費用なのか？		扶助費とは、社会保障制度の一環として、生活保護法や児童福祉法、または、老人福祉法など、国の法律に基づいて支出するものと、地方自治体が住民福祉の増進を図るため、独自の施策において支出するものがあり、現金・物品を問わず、被扶助者に対して支給される福祉施策の根幹を成す経費をいいます。		その他
25	意見		基本構想案にある「新しい藤沢づくりの課題について」に掲げている課題が不足、深掘りされていない。		基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定めます。		前提
26	意見		藤沢市は、すぐに新しいものをつくりたがるが、進行中のものが完成されていない。(基本構想でどのように活かされるのか。)		事業については、実施計画において定めますが、基本構想では、スクラップアンドビルド等、新しい市民の目線によって計画の再構築を図るという方向性を示しています。		前提
27	意見		高齢化により、退職した方々の力(老人力)を藤沢市がどのように活かせるのか課題である。		地域、市民と行政の自立によって、持続可能な地域社会、地域経営を確立することにより、主体的な実行力と協働を求めています。		前提

No.	区分	件名	内容	改善提案	回答(事務局案)	出展	分野
28	意見	過去の総合計画の問題点と反省点を洗い出すべき。今回の計画の留意点も。	そもそも今回計画をつくるにあたっては、過去の分析が必要。これまでの結果の分析と総括がまったくない。	過去の分析、総括を提議して欲しい。	新総合計画の策定に当たっては、現計画策定以降の大きな社会情勢、経済情勢の変化、人口推計における、人口減少社会への転換、少子高齢化の進展等の社会の基本的要因の変化が前提となっています。 また、市民満足度調査においても、現計画の基本目標について、重要度と満足度にバラツキがあり、逼迫する財政状況の中で、選択と集中、社会システムの再構築を行い、効率的効果的な社会形成が必要となっています。		前提
29	意見	これから藤沢に住もうとする人の意見を取り入れてはどうか。	現在、藤沢市外に住む人や子どもたちの意見を取り入れると視野が広がるのでは。		基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。基本計画の策定に当たっては、多くの課題を寄せていただくため、様々な調査を行っています。		前提
30	意見	基本構想の中に広域エリア(近隣市)を含めた視点の構想を入れたほうが良い。	政令指定都市等をめざすなど、もう少し広い視点の構想をいれるべきではないか。		政令指定都市への展開は、地域、市民行政と連携を前提にしている。藤沢市の新総合計画とは、基本的な前提が大きく異なるため、この計画には含めておりません。広域都市連携を基盤として考えています。		前提
31	意見	子育て・教育について	子育て・教育を子どもだけの視点から捉えるのではなく、「地域の問題として捉えること」「大人も含めた問題としてとらえること」の視点が薄い。	子どもの問題を大人も含めた問題とし、共生、ライフスタイルなどとあわせてまとめとする。	課題の収集と分析については、基本計画の策定時に詳細に行うこととしております。基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。		前提
32	意見	人の意識改革	どの会議に出ても参加者が同じ現在。市民の理念を盛り込むべき。(市民もそして行政も)		市民力を新総合計画の策定に反映させるため、「市民1000人調査・200人討論」「市民電子会議室」「パブリックコメント」といったプロセスを実施いたします。特に「市民1000人調査・100人討論」では、市政や地域活動の参加したことのない方に興味や活動のきっかけとなるものとして期待しております。		前提

No.	区分	件名	内容	改善提案	回答(事務局案)	出展	分野
33	意見	老朽化に向けて箱物行政の見直し	今あるものの機能を見直す。(稼働率、利用者の偏り)他の自治体との比較をする。	見直した後、博物館、美術館についても考える。空き教室の利用等も考える。自治会館の活用も視野に入れるべき。	公共施設のマネジメントについては、NPM(ニュー・パブリック・マネジメント)改革として、新しい公共における重要な視点のひとつであると考えております。市域での検討もさることながら、地域におけるニーズや特色に合致した施設設置や施設利用についても、地域経営の中で検討、解決するという事を考えております。他団体との比較については、機能や対象が全く同一のものの比較ということが困難であるため実施しておりませんが、建設・運営費用と利用率、受益者負担との関係から、その効果を検討することは可能であり、今後の地域経営にとって重要なもののひとつであると考えております。	p23	前提
34	質問	地域経営	地域力や市民力だけではだめ。行政も関わり、どこまで動けるのか。		地域、市民と行政の協働によって「藤沢づくり」を進めることとしています。その中で行政も、行政が担うべき責任と分担を果たしていきます。		前提
35	質問	市民センターの権限	13地区に予算がおろるが、本当にできるのか。「東京都北区」のように「神奈川県藤沢市〇〇区」のような、もっと強い区役所並みの権限が欲しい。予算・会議ともに13地区でいろいろできるのか。	地域によって文化は異なるので、それを活かす。また予算や会議についても分かりやすく情報提示をしてください。	市民センターには、市民生活により身近な業務に対する権限を中心に移譲してまいります。また、地域経営会議での意思決定に基づく予算要求や事業実施が可能となりますので、地域の文化、個性を活かした活動も、更に推進されるものと考えております。		政策
36	質問	本庁舎(公共施設)の老朽化	・支出、収入の具体案の提示 ・分権の方向があるが、本庁は固定資産として、今後どうして行くのか。		地域経営は、「地域でできることは地域で考え地域で実行する」ことを前提としております。従って、市全体に関わることやバックオフィス部門として集約的に処理すべきことについては、本庁舎の機能として、継続してまいります。	p25	政策
37	意見	住環境の変化	高齢者と子育て世代への対応	高齢者の生きがいづくり(外での元気な生活) 子育て支援(若い世代を増やすための対応)	基本構想においては、すべての市民が生きがいと活力をもって住み続けたい藤沢をつくることを将来像に掲げています。		政策
38	意見		基本構想案により、経済状況の悪化は理解できるが、これに対して、藤沢市がどのような対策を打つのか書かれていない。		基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。		政策
39	意見	公共資産の再活用	市民の家の老朽化、立地によっては利用しづらい。地域子供の家には、冷房・暖房がなく、時代に合っていない。		基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。	p15-8	政策

No.	区分	件名	内容	改善提案	回答(事務局案)	出展	分野
40	意見	周辺市町村との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学区を含めた学校教育や施設利用に関して ・河川に関する諸問題(汚染・海への影響)(防災) ・生活する些細なことにおける総括する窓口の必要性 		基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。		政策
41	意見	人口構成の変化を見据えた計画づくり	県立高校100校計画のいきづまり、ライフタウンの子どもの減少(ゴースタウン化?)などを考えると、今の問題を解決するだけでなく、今後のことも視野に入れた政策はどのようになっているか。財政課題についても同様。		基本構想では将来に向かって今からはじめる「藤沢づくり」を想定しております。地域経営をはじめとして、人口減少社会や成熟社会における政策を地域、市民と行政が協働して進めていくことを期待しております。	p3,p2 1	政策
42	意見	市民のボランティアには頼らない	どのようにして「市民力」を活用したいのか。「市民の力」はボランティアとしてとらえてしまいがち。言葉だけで働かされているイメージなので、長続きしないのではないか?ボランティアだけではなく、地域ビジネスに近い形で。	地域力、市民力をコミュニティビジネスとして活かす。	地域経営においては、コミュニティビジネスをはじめとする地域市民が主体となった、ボランティアだけでなく一定の収益性を加味した活動も想定しております。		政策
43	意見	青少年(中高生)育成のための拠点が欲しい	中高生を育成するための拠点が整っていない。	各地域ごとに地域経営会議を行うだけではなく、全体的な話し合いがあっても良いのではないか。	地域経営戦略100人委員会の今後の進め方の中で検討してまいります。		政策
44	意見	生活者の実感を吸い上げて欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに対する政策の充実 ・若い世代が働きながら子育てできる環境づくりを 	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童の解消を(施設の充実等) ・0~3歳児の子を育てる母子に対する地域コミュニティの場の提供を。情報交換の場を。 ・地域で子どもを育てるという意識が持てるように。 	基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。	p4,5	政策
45	意見	生活者の実感を吸い上げて欲しい。	・高齢者の孤独死をなくしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の人の見回りを強化したい。 ・市の制度に対する周知を(緊急通報サービスを知らなかった。) 	基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。		政策
46	意見	生活者の実感を吸い上げて欲しい。	・結婚しない若者を減らしたい。	・近所づきあいが希薄になっているため、解消したい。	基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。		政策

No.	区分	件名	内容	改善提案	回答(事務局案)	出展	分野
47	意見	大規模店舗と地元商店街活性化	商業活動について商店街活性化に向けて、地域を巻き込んでいく策を藤沢ではやっていない。活性化しても車の運転ができない人も行きやすい、身近な商業圏を！ フリーマーケット、ガレージセール等、月1回など、コミュニティの充実を図れるものを。		基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。		政策
48	質問	領域と地区	たいこ・おはやしは各家庭にあるもの。伝統文化として昔からあるが、どの分野に入るのか。また、地域に根付いたものであるため、新たに越してきたときに、入りづらいのではないかと。どこで教えてもらえるのか。		基本的な方向性においては、文化、カルチャーとして大きく捉えており、その中に含まれています。新しい市民の参入については、地域力のもとに、担い手をつなぎ、より多くの市民が参加できる仕組みづくりを、各地区の特色のもとに基本計画で定めていくこととなります。		政策
49	質問	財政逼迫への対応	基本構想で財政逼迫について語られているが、それについての具体策は？	市民による財政のチェック、市職員の削減など具体的にします。	基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。		政策
50	意見	変化、効果を待てる余裕と仕掛け	自然・みどり人が人を作ると思うが、公園をつくったからといって、すぐにそこで遊ぶ子どもが増えるわけではない。外遊びの習慣のない子どもが生活を変えるのには時間がかかるように、あわてて成果を求めない余裕と仕掛けが必要である。		基本構想でも述べているとおり、PDCAサイクルに基づく生活実感を基本とする段階的な改善を目標としています。そのため、地区の特色を活かした、地区、市民の成熟に合わせた仕組みづくりとなっております。	p12	システム
51	意見	素案全体に対して	内容が、教科書的で幅が広すぎる。 市民の方が呼んでも内容が理解できるもの、将来の藤沢に期待・希望を抱けるものにして欲しい。		総合計画は、地域、市民と行政が抱える課題を将来にむけて解決するためのものと位置づけております。従いまして、様々な分野に渡るものであることをご理解ください。文章や構成についてはご意見を踏まえ、再度検討いたします。	p14～ p15	記載
52	意見	広く市民に周知する・共有する工夫	2020の構想も読んだが、読んだだけ。市民が語れる構想をつくって欲しい(幼稚園児から語れるもの)	市民40万人 全ての人と共有することが必要 全体に知らしめること、こども版の基本構想が必要	全ての市民に共有できるものとなるよう、文章や構成についてはご意見を踏まえ、再度検討いたします。		記載
53	意見	表現が難しい、分かりづらい	言葉がかたい。(委員でない市民は読む気になれないのでは?)22ページの表などは分かりやすく、興味深い。第2章は分かりやすい。	まちづくりの沿革から始まり、反省点を示し、結末を踏まえ、何をどのようにやっというシナリオとする。	文章や構成についてはご意見を踏まえ、再度検討いたします。		記載

No.	区分	件名	内容	改善提案	回答(事務局案)	出展	分野
54	意見	文章が分かりにくい。	ずらずら書かれてもわからない。文章や言葉が難しい。具体的に何をするのかわからない。会話調にしてみたり、絵文字、記号を使うなど工夫が必要		文章や構成についてはご意見を踏まえ、再度検討いたします。		記載
55	意見	総合計画の作成過程	地域経営戦略100人委員会の意見が、どのように総合計画に反映されるのかピンと来ない。また、計画は市民に読んでもらえるものにならなくてはならない。表現方法、言葉の定義、分かりやすくすることが大事。		文章や構成についてはご意見を踏まえ、再度検討いたします。		記載
56	意見	市民にわかるような内容にすべき	市民に密着していくように思えないので、もっと分かりやすい文章、内容にすべき。		文章や構成についてはご意見を踏まえ、再度検討いたします。		記載
57	意見	基本構想の表現について	「湘南ふじさわ」「ふじさわ」とあり、統一した方が良い。「湘南ふじさわ」は、広域(近隣市を含めた)イメージがあり、「ふじさわ」には、藤沢市だけの事を捉えているイメージがある。		文章や構成について再度検討し、分かりやすいものといたします。		記載
58	意見	基本構想全体	同じ言葉や同じ意味(「藤沢らしさ」など)が繰り返されていて良く分からなかった。記憶に残らない言葉が並んでいた。もう少し圧縮することも可能ではないか。基本計画が出たときにもう一度見直していくのが良いのではないか。		文章や構成について再度検討し、分かりやすいものといたします。基本構想については市議会の議決を要しますので、基本計画策定後の修正は困難ですが、デザイン等については配慮いたします。		記載
59	意見	本物の「文教都市(地区)」としての藤沢について	文教都市(地区)としての藤沢が薄れてきている。	「文教」という言葉を基本構想に入れたほうが良い。	文章や構成とあわせて再度検討いたします。		記載
60	意見	反省点がいかされていない	各論でないのでわかりづらい。「ふじさわ総合計画2020」が活かされていない(反省点に触れていない)。地域経営戦略100人委員会の立ち上げなどの方向性は間違っていないが、地域から全市について考えることは難しい。	例えば、「気づき」の深掘りは分かりやすかった。各論から入るほうが分かりやすい。財源がない中で、何であれば取り組めるのか。	基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。		記載
61	意見	文章全体	全体的に内容と文言が難しい(学術的すぎる・抽象的すぎる)	一般市民が理解できる内容、記載方法にする。読む気持ちの起こる、魅力ある文章にする。	基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。文章や構成についてはご意見を踏まえ、再度検討いたします。		記載

No.	区分	件名	内容	改善提案	回答(事務局案)	出展	分野
62	意見	基本構想は長すぎる	基本構想の重複した部分を除くと短くなり、分かりやすくなる。多分3～4ページで済むと思う。	主要なテーマを決めた方が、考える方としても分かりやすくなる。明確に主題を持つこと。「福祉のまち」「教育のまち」など	テーマとしては、将来像から基本理念を踏まえた3つの都市ビジョンを定め、その都市ビジョンのための藤沢づくりに必要な方向性を掲げています。 新総合計画の基本構想は、部門別の計画とは異なり、課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。		記載
63	意見	市議会議員の関わり	「私たちの政府」と名付けているなら、議員としての役割をしっかりと果たして欲しい。		議会については、独立した機関として、議会制民主主義の役割と責務のもとに果たされているものと考えております。		記載
64	意見	分かりやすい言葉で	「湘南カルチャー」とは何を持っていつているのか。海があるからか？外からのイメージか？湘南は広いイメージがある。鎌倉～茅ヶ崎までになってしまう。		「湘南カルチャー」は気候、風土、伝統などからくる、市域を含む、この湘南の文化を示しています。それは外部に発信され、また市民に共有できるものであり、市民ひとりひとりが「藤沢ライフスタイル」として、心の満たされるライフスタイルを確立することを願っています。	p15	記載
65	意見	素案全体に対して	「藤沢らしさ」を方向性の中で、具体的に表現して欲しい。「藤沢」の文字を他の地域に買えて読むことができるような計画であってはならない。		地域経営や「藤沢づくり」などで、藤沢の独自性が発揮されるものと考えております。多様性、湘南、江の島、都市とみどりのバランス等の「藤沢らしさ」についても、基本構想の前提として活かされております。	p14～ p15	記載
66	意見	各テーマに対して	藤沢の方向性を9項目に分けているが、その項目1つを取っても幅が広い。内容が分かりにくい。例えば、共に生き～の項目についても、子育て・家庭・介護等分野が分かれている。		基本構想においては、目指す方向性を示すにとどまり、具体的な施策の手法等については基本計画、実施計画において検討することとしています。	p14～ p15	記載
67	意見	市民とは何？NPOとは何？より具体的に	p11にイラストがあるが、例えば、御所見と片瀬の何をつなぐのか？市民とはNPOとは一体誰のことなのか？		「何を」という部分については、「誰が」「どのように」という記載、コストについての考え方と合わせて基本計画で表してまいります。 基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。	p11	記載
68	意見	各テーマに対して	視点が広すぎるため、ビジョンを持ちにくい。明確性が欲しい。具体性が欲しい。役割を明らかにして欲しい。(責任の所在)		基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。	p14～ p15	記載

No.	区分	件名	内容	改善提案	回答(事務局案)	出展	分野
69	意見	内容が漠然としすぎている。	高付加価値型～と書いているが、具体的に内容が浮かんでこない。どのように行っていくつもりなのか、記載内容からはつかめない。		「どのように」という部分については、「何を」「誰が」という記載、コストについての考え方と合わせて基本計画で表していきます。基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。	p13	記載
70	意見	藤沢市の今後の変化をどのように捉えているのか。	10年後、20年後にはどのような変化が生じているかわからない。例えば、いすゞがなくなったり、武田がなくなったりしたときに対応できるようづくりになっているのか。大きな変化にどのように対応していくのかも盛り込んでもらいたい。		予測可能な将来に対する変動については、地域、市民と行政との協働による「藤沢づくり」で対応することを想定しています。		記載
71	意見	第一次産業の振興、活性化を表記して欲しい。	北部地域においては、農業を中心とした生活ができるようにして欲しい。「みどりを残す」とはどのように守っていくのか。	第一次産業の振興を行って欲しい。	「どのように」という部分については、「何を」「誰が」という記載、コストについての考え方と合わせて基本計画で表していきます。基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。	p15-6	記載
72	意見	「私たちの政府」など、自己満足的な表現ではなく、より具体的に	「私たちの政府」「市民力」「地域力」「行政力」とは一体何？自己満足的な表現ではなく、「日本における藤沢の強み」を、ブランド力をあらわして欲しい。	具体的な意見を過去の委員会で提案してきたはず。分析をして具体的に表現して欲しい。	基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。	p1,p9	記載
73	意見		地域内分権、広域都市連携とはいうが、より具体的に誰が関わるのか明示すべき。		「誰が」という部分については、「何を」「どのように」という記載、コストについての考え方と合わせて基本計画で表していきます。基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。		記載
74	意見		藤沢で育つ子どもたちが、将来的に藤沢で働く、住むとは限らない。もう少し条件整備がなされなければ、これは成立しないのではないかと。各項目について、具体的な記載をいれ、補強しなければならない。		新総合計画の基本構想は、部門別の計画とは異なり、課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。	p14～p15	記載

No.	区分	件名	内容	改善提案	回答(事務局案)	出展	分野
75	意見		分野に分けて構想をつくったらどうか。		基本構想では課題の方向性について述べるのみにとどめ、基本計画において実際の課題とその分析に基づく目標を定め、実施計画とともに対策を講じていきます。また、環境基本計画、健康増進計画等分野別の計画も策定されていることから、他の計画で対応すべきことと考えます。		記載
76	意見		将来の人口減、収入減となることによる、近隣市を含めた行政のスリム化等のことを検討して入れる必要があるのではないか。		広域都市連携については、地域、市民、行政の別なく、多様な都市活動のなかで進めていくこととしております。		記載
77	意見	基本構想全体	世界に誇れる藤沢を実現できるような構想にして欲しい。		地域経営と市民主体のまちづくりを前提とする、地域、市民と行政の協働による「藤沢づくり」が、市民の誇りとなるように努めてまいります。		記載
78	意見	私たちの政府→ 私たちの藤沢	「私たちの政府」には違和感がある。 よりやさしい表現で。	反省から始める(厳しい現状、ふじさわ総合計画2020)。市民と行政の信頼を深めるような内容を盛り込む。(ふじさわ総合計画2020の反省と伸ばす点を記載)	厳しい現状等については、「私たちの政府」宣言と第3章を中心に記載しております。 「私たちの政府」は地域、市民と行政を含めた協働のまちづくりの象徴すべきとして示したものですので、ご理解ください。		記載
79	意見	全体的に明るい未来を描きすぎている。	暗い現実、見通しなのにに対し、明るい未来を描きすぎている。	反省から始める(厳しい現状、ふじさわ総合計画2020)。市民と行政の信頼を深めるような内容を盛り込む。(ふじさわ総合計画2020の反省と伸ばす点を記載) 厳しい現状を踏まえて、市民、行政がどう取り組んでいくかについて内容に盛り込むべき。	厳しい現状等については、「私たちの政府」宣言と第3章を中心に記載しております。 このような状況の中でも、夢を持って、将来のために取り組んでいくための仕組みとして「地域経営」「市民主体のまちづくり」「生活実感にもとづく計画と実践」を掲げています。		記載
80	質問		基本構想案ができ、期待はしているが、具体的に自分の生活にどのような影響を与えるのか分からない。		地域、市民と行政の自立によって、持続可能な地域社会、地域経営を確立することにより、主体的な実行力と協働を求めています。		記載
81	質問	用語について	「湘南の環境」とはどんなものか。「湘南の文化」とは何か。分野や捉え方は。	「環境」や「文化」は使いやすい用語である。また芸術面、環境面など、分野からの見方によって、言葉の捉え方が異なってしまう。もっと具体的に。	基本構想では、環境や文化には多様な意図を含め、様々な取り組みが活かされることを想定しています。	p15	記載

No.	区分	件名	内容	改善提案	回答(事務局案)	出展	分野
82	質問		「私たちの政府」市民参加を意識しているが、押し付けではないか？		「私たちの政府」は、地域、市民と行政がそれぞれの力を発揮し、協働のもとにまちづくりを進めることを表現しています。	p9	記載
83	質問		独自性がない、特徴がない。一般論でよいか。		地域経営や「藤沢づくり」などで、藤沢の独自性が発揮されるものと考えております。		記載
84	質問		「湘南」が適切か？北と南の違いは構想でどう反映するか。(広域的な話等)		地域の特徴や個性は、地域経営の概念のなかで反映され、格差であれば解消される方向付けが、基本計画などで反映されるものと考えております。		記載

新総合計画基本構想（第一次素案）に係る意見提案等

100人委員会委員からの意見

No.	区分	件名	内容	改善提案	回答(事務局案)	出展
1	意見	全般	第一次素案の全文について日本語として誠に拙劣で、読むに耐えない文章の連続です。	せいぜい3~4ページで充分の素案がまとまると思います。必ず再考されたい。考え方も整理されるでしょう。 なお、構想には、藤沢市は何にテーマを置いたまちにするか決めた方が良いと思います。例えば、「教育のまち」「福祉のまち」「環境のまち」というような、他都市からみて、そのテーマによるまちづくりで、さすがといわれるようにしていくとよいと思います。	文言、公正については整理をいたします。 テーマについては、地域経営戦略100人委員会の活動の中で、市民の「気づき」をもとに明らかにしていくものですので、基本構想では、どのような方向性があり、どのような理念を持って、将来への活動を進めていくかを記載することとどめています。	
2	意見	基本構想の表現	カナふりや分かりやすくするための工夫が求められましたが、あくまでも基本構想は、無理に難しい表現や、専門用語を使わなくても格調高いものにする。(第一次素案程度でよい。) 「私たちの政府」の政府はなじまない。	次世代を担う子どもたち向けには、別冊(副読本的)に分かりやすいものを作成したらどうか。(対象は中学2年生程度)将来に期待される子どもたちの理解こそが大事です。	分かりやすいもの、読んでいただけるものについては、基本構想の議決後に策定をする予定です。	
3	意見	100人委員会「産業領域」部会の提案	「産業領域」部会の作業の明確化と組織化について ・藤沢市の厳しい財政状況が今後も続くと予測されるとき、今こそ財政の歳入の面に本腰を入れ、第一に産業のことの改善方策を考えていく。 ・その作業に取り組むとき、100人委員会「産業領域」部会のメンバーは5名しかおりません。	①早急に「産業領域」の作業部会の確定を行う。 例えば、「工業」絞って考えていくこととすると、専門家(在藤企業を中心、行政)を入れてチームを構成する。 ②部会の組織化を図る。(総括班、分野別作業班を組む。) ③人材を増やす。	地域経営戦略100人委員会のご検討を踏まえて参りたいと考えています。	第一次素案(p25~)
4	意見	「藤沢」の表記を極力統一する。	「基本構想」は「私たちの政府」の憲法。市内向け、また仕組みのモデルとして全国へ発信することを想定し、地名表記を極力統一する。	まちの将来像に「湘南ふじさわ」を掲げているので、文脈上支障がなければ「藤沢づくり」を「湘南ふじさわづくり」に統一する。	「藤沢」は過去と現在に関わる事項、「ふじさわ」は将来像に関わるイメージとして用いています。また、「湘南」は市域にとどまらず、広域のイメージまたは広い視点から見た「藤沢」「ふじさわ」のイメージを示す際に用いています。	p10,p12~15, p33,p35~37, 目次
5	意見	「ふじさわ」の表記	「ふじさわ」のひらがな表記は、イメージ的にやわらかくていい。市名イメージ変更(刷新)に使える。		「藤沢」は過去と現在に関わる事項、「ふじさわ」は将来像に関わるイメージとして用いています。また、「湘南」は市域にとどまらず、広域のイメージまたは広い視点から見た「藤沢」「ふじさわ」のイメージを示す際に用いています。	

No.	区分	件名	内容	改善提案	回答(事務局案)	出展
6	意見	「地域力」「市民力」の生かし方	「地域力」「市民力」の具体的な生かし方が示されていない。地域自律型のかたちのモデルを分かりやすい説明で示して欲しい。「新たな行政システムを構築し…」とあるが、具体性に欠ける。	新たな行政システムの中で、「地域力」「市民力」を生かす方法を具体的に示す。現行のシステムとどのように変わるのか理解できるように。	地域市民、コミュニティ、行政の具体的な活動の内容や方法、連携は、基本計画・実施計画の中で明らかにしていきます。	p1,p3 ~ 4,p14
7			子どもをいかに育むかと働く世代をいかに戻すかの2点あると思う。			
8			地元働く場がないので、それをどうにかしたい。(職住接近のまちづくり)			
9			少子高齢化対策のため、母子クリニックを緊急に新設したい。			
10			待機児童が多い。			
11	意見	「私たちの政府」に対する賛否は確かめられているか。	マスタープランを読んでいる人は、市民の中にどの位の割合の人なのか。「地域力・市民力を活用」する範囲は納得していても、税金が一部の人の意見(かなり個人的意見になる)によって使途が決めることに納得できない。少なくとも地域経営会議のメンバーは選挙によるものではないわけなので、特定の団体の意見に偏る可能性は大いにある。	本当に地域経営会議が行政と同じ権限をもつなら、裁判員制度のように公平に選ばなければならない。しかし、その形は更に無責任な集団になるように思う。	「私たちの政府」は、地方政府を進化させた、地域市民、コミュニティ、行政による個々の活動と連携によって形づくられるものであるとしています。各地区では地域経営会議が、独断ではなく、アンケート、地区集会等、様々な手法で市民の声を聞き、公平性を担保しつつ意思決定を行うものとしています。	
12	意見	一般市民に無償で責任を負わせるのは行政の責任回避	「地域責任」に基づく地域自律型というが、集められた市民は無償で、責任をもって事にあたるとは、物理的にも精神的にも不可能。生活者の実感を大切にするのは良い事だが、あくまで実感であって、公正な判断と一致するものではない。現実にはかき集められているのであって、それを仕事にしようとするものではない。そういう状況下で地域責任とは、どこまで要求しようとしているのか明確にしなければならない。また、責任を課すべきではないと考える。	地域の実態を吸い上げ、提案をする。そして、それを全体で討議し、調整する組織とすべきではないか。	生活者の実感、地区でのアンケートなど、各地区での声を聞きながら収集するものであり、地域経営会議の実感だけではありません。地域経営会議は、地域団体や市民の声を聞きながら、政策や事業の地区での必要性、重要性、満足度などの調査をもとに意思決定を行うという意味での、意思決定権を有しています。	

No.	区分	件名	内容	改善提案	回答(事務局案)	出展
13	意見	地域経営会議の予算・権限範囲は？	<p>自律するまちといいつつ、村岡新駅、庁舎移転、バイパス整備等大規模事業は、市民の意思とは離れて進められているにも関わらず(バブルの時期のお金があふれている時ならいざしらず)、地域の自律はどこまで可能なのか？</p> <p>子どもに小遣いを渡し、その使い道を任せて、自律しているかのような錯覚とあまり変わらない。</p> <p>そうなると少々無駄遣いをして許されてしまう可能性がある。</p> <p>無償でやらせる範囲とは、具体的に何についてなのか？</p>	<p>文章は雲をつかむような絵空事ばかり。</p> <p>「地域の中のこの事とこの事」を地域独自でやりくりして貰えるかという具体的提案が必要。</p>	<p>大きなインフラ事業等については、各地区の意思も踏まえつつ、全市的な効果を踏まえて検討すべき事項であると考えています。</p> <p>各地区では、地区の声を聞きながら、事業の優先性や必要性を踏まえた意思決定を行うこととしており、それは資金が市税によるものかどうかを問いません。</p> <p>使途や支出方法については、当然透明性の上に成り立つものであり、費用対効果を踏まえるものであることは言うまでもありません。</p> <p>具体的な事業の範囲については、基本計画、実施計画の策定の中で明らかにしていきます。</p>	

新総合計画基本構想（第一次素案）に係る意見提案等

庁内新総合計画検討会議

No.	区分	内容	出展
1	意見	3頁の下から5行目の「試行錯誤」という言葉は、例えば「実現」などの言葉に再考した方が良いのではないか。	「私たちの政府」宣言
2	意見	<p>○3ページ I 「私たちの政府」宣言 「政府」という言葉は、辞書で調べると「政治を行う所。現行憲法では、行政権の属する内閣または内閣とその下にある行政機関の総体をいう。広義では、立法・司法を含む国家の統治機関を意味する。」となっている。「私たちの政府宣言」の主旨は基本構想を見ればわかるが、基本構想に目を通さない大多数の市民にはわかりづらくまた誤解を与える表現である。例えば「私たちの藤沢」などのわかりやすい表現ではダメなのか。</p> <p>辞書による「政府」の意味は、「政治を行う所。立法・司法・行政のすべての作用を包含する、国家の統治機構の総称。日本では、内閣および内閣の統轄する行政機構をさす。」となっていますが、地域づくりの最上位に位置づけられる財政計画で、長期展望をもつ計画的、効率的な行政運営の指針が盛り込まれる総合計画において、「政府」という言葉を使うことは妥当なのでしょうか。</p> <p>○4～5ページ 「藤沢づくり」の基本的な考え方について 基本的な考え方の4つ目の項目として、～持続可能な地域社会の形成を目指した「藤沢づくり」という、考え方を追加した方が良いのではないか。 ～「私たちの政府」宣言～でも触れられているように、本市の都市づくりは高度成長期から続いた成長の時代から、人口減少社会、低炭素社会など成熟の時代という大きな転換期を迎えており、持続可能な地域社会を支える都市構造の再構築の方向性についても項目を作り示しておく必要があると思う。</p>	「私たちの政府」宣言
3	意見	<p>・市民が初めて見たときに、使用している言葉が抽象的で理解しにくいのではないか。 例えば、行政→市役所、共創など市の職員には解るが、市民にはなじまない。 ・「地域経営」という言葉がいきなり出てくるので、なぜ「地域経営」なのか、の説明を入れた方がよい。たとえば、財政が厳しく、全てを市役所ではやりきれなくなった等 ・「地域市民」、コミュニティと行政と言う表現の中で、『コミュニティ』の意味は、地域組織？地域団体？どう解釈すればよろしいでしょうか。 ※ 市民向け？に作成するのであれば、市民が理解できる表現等にした方が良いのではないのでしょうか。 ・p3「Think Fujisawa, Act together」「Think future, Act now」は英語表記を入れるならカッコ書きにしたら。 ・p3下から8行目、「未来の課題」を明らかにします。そしてその実現を目指して…→課題の実現はおかしいのでは。 ・p3下から5行目、地区ごとの試行錯誤を進めていきます→地区ごとの取り組みを進めていきます ※ 体的に文章が難しい。特にp3の28行目以下「そのために、まず、地域経営の目標として…」は、すっきりした方がよい。 ・p5下から2行目、「生活者の実感でメリハリのある戦略的市政運営」とあるメリハリの意味がよくわからない</p>	「私たちの政府」宣言
4	意見	<p>○市民の方が、「政府」という言葉に違和感を感じないか。 例えば 市政、市、まち、地域主権 など ○3P 第2パラグラフ 2行目 「働く人も減少」→「生産年齢人口も減少」 ※働く気がない人が増えるように受け取れる</p>	「私たちの政府」宣言
5	意見	<p>○ 基本的に言葉が難しすぎてスーっと頭に入ってこない。できるだけもっと平易な言葉に直すべきである。 ○ 全体的として長すぎるので、宣言書ということで言えば、せめて見開き2ページ程度にまとめた方がよいと思う。特に前半部分の説明、地域経営の説明あたりの文言、文章の精査が必要。 ○ 3ページ3行目、「藤沢づくり」という言葉をいきなりここに使うべきではない。「藤沢づくり」はこの宣言のキモの言葉でもあり、これから私たちの政府が新たな「藤沢づくり」を行うことがこの宣言の主旨なのだから、後半の「藤沢づくり」の基本的な考え方を示す直前で初めて出てくるべきと思う。 ○ 3ページ下から5行目「試行錯誤」の「錯誤」、4ページ下から3行目「時には、新たなセーフティネットの構築を進めていきます」の「時には」は削除すべきではないか。 ○ 「自律」、「共創」、「サービスの設計」、「高い生産性のもとに」、「未来投資」、等の文言については意味がわかりにくい、意味不明な面があるので、それぞれの言葉の使用については再検討すべき。</p>	「私たちの政府」宣言

No.	区分	内容	出展
6	意見	<p>○13地区間の地域性や地区間競争等により生じた地域格差に対応する行政のフォロー体制も検討しておくといのではないのでしょうか。(意見)</p> <p>○ 昨今の「困難な状況」に市民、地域とともに、「藤沢を考え、ともに行動する」と、「協働、共創をしながら自立した地域経営を行っていく」こと等、今後の自治体にとって最も重要なことと考える。 ただ、大切なことは、地域には、また市民には様々な考えや感じ方を持った方がいる中で、市民に、そして地域に負担を感じさせない行政の上手な取り組みが最も要望されてくると思う。</p>	「私たちの政府」宣言
7	意見	<p>① P3地域経営とは、の中に、良好な地域コミュニティ育成による、安全安心な生活の確保についての記述を加えても良いと思います。</p> <p>② P4 1. 生活者の実感で進める「藤沢づくり」の中で社会的に援助を必要とされている人に、「低所得者」も含むべきと思います。</p>	「私たちの政府」宣言
8	意見	<p>「政府」という言葉は何となくなじまない感じがしますし、全体として文書が難しい感じを受けます。聞き慣れない「共創」という言葉が何力所か使われていますが、使うとすればその説明を少し加えるか、又は皆がわかりやすい表現にしたらどうですか。 市民が力を合わせて物事に取り組むことは必要としても、最終的に「全ての者が幸せと感じる社会の実現」をどこかで謳って欲しい。 「お互い様」というように人はもたれ合って生きていることがほとんどであり、「自立」という言葉が多様されているが、あまり多いとプレッシャーを感じることにならないか</p>	「私たちの政府」宣言
9	意見	<p>・自立と自律の使い方は、意識をして使い分けをしていると思えるが、自律ではなく自立に統一した方が良いと思う。(以下の項でも同様) 単純な意味では次のとおり。自立:自分の力で独立すること。自律:他に縛られず自分で自分を取り締まること。</p> <p>・政府という概念を用いるのは、既に国の考え方にも表れているので良いと思う。但し、政府という国という観念が強いので、政府の意味・内容をしっかり伝えるべきである。 その意味では、国とは異なる意味で、「市民政府」という表現にした方がよい。「私たちの政府」ではなく、「私たちの市民政府」。</p>	「私たちの政府」宣言
10	意見	<p>(1) 表現としてわかりづらい点 「地域経営」という言葉が、まち(市)の経営ということで、「地域経営会議」のことではない?</p>	「私たちの政府」宣言
11	意見	<p>全体の文章表現が難しいのではないかと感じます。市民目線の市民経営を行うのであれば、もう少し平易に表現する方が良いと思います。</p> <p>②「自律」や「共創」などの表現は、市民目線には分かりづらく、また、「夢を叶える公共」「新しい公共」などキーワードになるような言葉が多く、目指す方向が多様にわたっていて、分かりにくいように感じられます。</p>	「私たちの政府」宣言
12	意見	<p>・カギ括弧で強調した新しい表現や、普段あまり使用しない表現が少し多すぎるという印象がある。例えば、共創という言葉は、意味は理解できるし新鮮味はあるが、市民にはあまりなじみがないと思う。もっと日常生活に使用する通常の用語で説明した方が良い。新聞等で通常使用している言葉を中心に使用し、カギ括弧や造語は、最小限の使用のほうが効果がある。</p> <p>・「政府」だと、一般的に「国」のイメージが強いように思われる。</p> <p>・前段には、「宣言」に当たる経過わかりやすく書かれよと思う。中段の“地域経営”云々の下りでは、説明が細かくてかえってわかりづらくなっている。もう少し、すっきりとした方がよいと思う。</p> <p>・「自立」と「自律」の並列標記がわかりにくい。また行政が「投資」とは、どのようなイメージなのか。</p> <p>・一文節が長い部分があるので、少し工夫が必要と思う。</p> <p>・P3 「共創」の意味が解らない。</p> <p>・P4の3～5行 高い価値を共創することを支える未来投資を実現しながら、自律性と持続性を持った「新しい公共」の下りの意味が解りづらい。</p> <p>・P4の20～21行 子どもや高齢者、障害者など、社会的に援助を必要とされている人も含めて…の下りはなぜあえて記述するのか解りづらい。</p>	「私たちの政府」宣言

No.	区分	内容	出展
13	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・P3～5「地域」という言葉があまりにも多く記述されているきらいがある。 ・題名について少数かもしれないが、「政府」という言葉に対するアレルギーの人には受け入れがたいかもしれない。また、①「…自立」②「…自立」の次に「自律」が明記されると同音が続ぎ、意味が異なる場合は聴いた時に混乱するため工夫が必要ではないか。 ・共創についても新しい言葉を使うときには解説が必要になる。(P. D. C. Aについても同様) ・「私たちの政府」とは、「政府」＝「行政」(藤沢市)とした場合、ビジョンとして「地域力」、「市民力」、「行政力」の3つで将来のまちをつくるのであれば矛盾を感じる。政府は将来のまちをつくる「力」の1つとするのであれば、「私たちのまち(又は、藤沢)」宣言だと思う。せつかく共に対等の立場でまちづくりを目指す理念から遠ざかり、行政だけが浮いてしまう感じがする。つまり地域、市民、行政がつくり上げるまちということになるのではないか。 ・また、別の意見として「地域経営」「市民経営」を強調してきた中で、「私たちの政府」という言葉には違和感を覚える。これだとせいぜい「親しみやすい政府」「みんなが選んだ政府」のようなイメージにすぎない感がある。その他に政府から連想する言葉として権限、統治といったイメージも感じられるためソフトな表現のほうがよいのではないか。 	「私たちの政府」宣言
14	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・その他本文の内容には、市民主体の「藤沢づくり」が強調されているのでよいと思う。 ・P3の下から9行目「～、地域経営の目標として、(中略)「未来への課題」を明らかにします。」→目標が課題を明らかにすることなのか。引き続きで「そして、その実現を目指して、(後略)」→その実現の「その」とは何を差すのか。「課題」だとしたら課題は実現するものでなく、解決することにより、暮らしやすさや豊かさを実現するものではないのか。 ・地域と地区については、用語の定義をすることが必要。我々職員は、地区とは線引きされた13地区とイメージできるが、市民にはピンと来ないのではないか。 ・P4の1行目「(前略)高い生産性のもとに～」とあるが、いきなり出てくる「高い生産性」とは具体的には何か。前の文章を読んでも定義が難しい。 ・「藤沢づくり」の基本的な考え方の1. は「未来への課題(の解決)」＝「身近な藤沢づくり」→(点検・改善＝PDCA)＝「未来の藤沢づくり」という図式だと思うが、「藤沢づくり」が続けて出てくると、わかりにくくならないか。 ・同2. の「地域力」「市民力」については、その下にある説明やP3「政府宣言」下から13行目(「市民一人ひとりの自立」「地域コミュニティの自立」)でも(個としての)市民→(集合体としての)地域という図式になっている。市長マニフェストでも「市民力」「地域力」という同様な構成。あえて、地域力を前にした～逆転させた意味はあるのか。 ・同3. 「私たちの政府」による自立と協働の「藤沢づくり」は、P4の下から14行目のイントロ部分と同じ表現です。間違いはないのですが、行政或いは自治体のあり方、またその変革などを言いたいのでは無いかと考えると、「新しい公共」などもう一ひねり欲しい(つまり表現変えたら)。 ・同3. 内の説明3行目にある『地域内分権』は、市の中において13地区へ分権を進める意味なら地域分権という表現ではないのか。さらに地域の中へ進めるという意味ならば地域内は理解するところ(そういうのがあるのか?)。用語の定義と使用はしっかりすべきであると思う。もし、正式な言葉としてあるなら、勉強不足をお詫びします。 	「私たちの政府」宣言
15	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・格好のいい言葉を羅列しているため、冗長で意味不明の文章になっていないか。 ・できれば、中学生に理解できるくらいの文章表現にできれば素晴らしいと思います。 ・「宣言」として、そらんじられる、キャッチコピー的な一文があると親しみが持てるのではないか。 ・「私たちの政府」という言葉からイメージすること、宣言に書かれている内容とギャップが有るように思える。(宣言に書かれていることは、自分達のまちを造り(創り)あげるというイメージに感じる。) ・「政府」とは、国民・市民が主体の一部となり得るのだろうか? ・「政府」とは、国民・市民から信託を受けた行為主体であり、国民・市民・地域を言葉の上で取り込むことには実体が伴わない。 ・これまでも「市民参加」とは言われてきたが、それはあくまでも主体があって、その一部に市民が関与(参加)する形態である。また、一方で、市長部局と議会との関係を改めて考慮する必要がある。議会及びその機能を無視すべきではない。 ・基本的な方向性は理解できるし、これからの自治体にとって、この政府宣言が必要なものだと考える。ただ、長くなっている分だけ分かりにくい。特に、市民が読むことを前提にすると、地域経営とは何かということが、もっとコンパクトに明快に書かれていた方がよい。 	「私たちの政府」宣言
16	意見	<p>全体を通して、抽象的な表現が多く、市民の理解が得られるかどうか疑問な点がある。(特に、4ページ前段の「高い生産性のもとに実現」、「高い価値を共創することを支える未来投資を実現」といった部分の表現)</p>	「私たちの政府」宣言
17	意見	<p>1月7日の庁内新総合計画検討会議でも各部長からご意見がありましたが、市民感覚では馴染みにくい文言等(例えば、「夢をかなえる公共」、「自律した地域経営」、「コミュニティ」、「共創」等。)については、より分かりやすい表現が必要であると思います。</p>	「私たちの政府」宣言

No.	区分	内容	出展
18	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・P4の下から2行目「施策を実施」は、「政策(対策等)を実施」では(施策＝政策等を実施すること) ・P3に「自立」と「自律」があるが、区別しているのか ・「」で強調している箇所が多すぎるのでは ・P3の中段の「夢をかなえる公共」は、P4の上段の「新しい公共」に統一したら ・P3の中段の「充実生活づくり」は、P4の「藤沢づくり」に統一したら ・P3の「地区ごとの試行錯誤を進めて」の表現はおかしくないか 	「私たちの政府」宣言
19	意見	<p>①全体のバランスからみて、P—4下段「時には、新たなセーフティーネットの構築も進めていきます」は必要かどうか。 あるいは、「安全網、安全対策、あるいは社会的・個人的な危機に対応する方策」など、どれに該当するか不明確だが、「社会的・個人的な危機に対応する方策」であれば注釈がないとわからないのではないか。</p> <p>②「自律」という言葉がキーワードとなっているが、他からの支配・制約などを受けずに、自分自身で立てた規範に従って行動することかどうか不明。地域は自律、都市全体では自律より自立が妥当かと思う。</p> <p>③2「地域力」「市民力」を発揮する「藤沢づくり」において、「地域力」については、地域の課題に対して「地域市民」同士が連携・協力で解決する「地域力」と定義され、「藤沢づくり」への繋がりが明確であるが、「市民力」については、どのように「藤沢づくり」に繋がるか不明確ではないか。「市民力」についてもまちづくりへどのように関与するか、定義するような記述が必要ではないか。</p>	「私たちの政府」宣言
20	意見	p4)「藤沢市を創っていくための指針として～宣言する」のではなく、「私たちの政府の創立を宣言し、藤沢市を創っていく」のではないかと思う。	「私たちの政府」宣言
21	意見	<p>○6ページ 計画のフレームと構成 コミュニティと行政が協働で活用するものとして位置付けをするのであれば、市民になじみのない言葉には注釈をつけ、分かりやすい表現を使う必要があるものと思います。</p> <p>○7ページ 総合計画の構成(図) この図には、11ページ下段の図と同様に、議会の関わりを明示したほうがよいと思います。</p>	枠組と基本方向
22	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・p6目標年次が平成42年で20年間を目標としているのに、p7の基本計画に前期・後期の12年間と記載されており、整合性がとれていないのでは？ ・p7に(3年ごとのローリング)と記載されているが、なぜ3年間なのかがわからない。 	枠組と基本方向
23	意見	<p>○8P 三つ目の○ 1行目 行政力は、行政内部の「～(幹部会)」と「～(若手職員)」を通じて発揮されます。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>行政力は、職員一人ひとりの職員力が行政内部の・・・ ※幹部会と若手職員(一部)のみで行政力を発揮するように受け取れる</p>	枠組と基本方向
24	意見	<p>○ 計画のフレームと構成、計画策定のプロセスは、基本構想からはずし、資料編等として整理すべき内容と思われる。</p> <p>○ 7ページ下段「総合計画の構成」の図の実施計画の下に囲んである、市民、地域経営会議以下8つの言葉がなぜここにあるのか理由がわからない。不要なのではないか。</p> <p>○ 基本構想に登場する「20年後」及び「20年後を見据えた10年後」、最近しきりに言われる市制100周年に向けた30年後、基本計画の12年の年数相互の整合性が理解しにくい、市民や職員はわからないのではないか。もう少し整理して絞りこむべきであり、もし使うなら丁寧な説明が必要と思う。</p> <p>○ 特に、基本構想を新たに作り直す理由の中には現行の「2020」の20年間を見据えた基本構想は、時代状況、経済環境等の変化が著しい中、長すぎるということも含まれていたはずなので、「2020」を総括すべきであるとの意見もあることを考えると、この問題についてはきちんと議論しておくべきである。</p> <p><基本構想の内容、文言ではなく作成、検討の進め方として></p> <p>○ 実質的な総合計画への職員の関わり(の実感)という意味では、若手の「わいがや」と部長級の「検討会議」しかない。もっと中堅層がかかわる部分をつくり、今後10年20年の藤沢市政の実質的な推進に職員が主体的に関与できるようにしたい。</p>	枠組と基本方向
25	意見	「各計画とも、経済状況の変化や、大規模災害発生時に、別途見直しを行うものとする。」との記述が必要だと思います。	枠組と基本方向
26	意見	・総合計画の構成の基本構想部分に、1の政府宣言は入れなくてよいのか。今回の作り方からすれば、入れるべきであると思う。	枠組と基本方向

No.	区分	内容	出展
27	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「13地区別のまちづくり実施計画」が策定された後、計画事業と地域経営会議で議論され実施する事業との関係がわかりにくい。 ・進捗管理をどのように行うかといったことまで明記すると、より説得力があるのではないか。 ・政府宣言でも述べたが、「地域」「市民」「行政」はこの順番でよいか。(この後も一緒) ・基本構想は10年ビジョン、基本計画は前後12年計画としているが、3年ローリングの6年計画として明示した方がわかりやすくないか。(市民はビジョンと計画のサイズが合わないと言ってくるような…) ・実施計画は、3年よりも市長の任期に合わせた4年が望ましい。他市においても、選挙公約やマニフェストなどの整合性を保つために、4年としている例が見受けられる。3年とするならば、その根拠は何か？ 	枠組と基本方向
28	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の構成で、図に「基本構想」の文字がある方が分かり易い ・基本計画は3年ごとのローリング(?)で12年間の計画としているが、基本構想の10年後の姿を示すビジョンと2年間の差があるのは不自然な気がする ・「地域市民」が全て括弧書きで記されているが、「地域経営」は括弧書きとそれ以外があるが、強調の程度か 	枠組と基本方向
29	意見	基本計画の期間は前後期12年間となるが、概ね計画の期間は中期10年、長期20年間で設定され、現在計画策定中の下水道中長期ビジョンも一般的な仕様の10年長期事業計画で進めており、整合が図りやすい。また、実施計画については、継続的な事業も多数あり、3年程度では成果指標も設定しにくいと、5年計画がベターで3年でローリングの方が望ましい。	枠組と基本方向
30	意見	1. (資料10ページ)「3.「選択と集中」を図る財政計画」の本文を以下のとおり修正したかどうか。 「新総合計画は、「選択と集中」を図り、より少ない費用でより高い成果をあげる知恵を意識するとともに、将来のまちづくりの投資を可能とするため、効率的・効果的かつ継続性が担保された財政計画の策定とその管理を行います。」	将来像・基本理念
31	意見	<p>○10ページ 3「選択と集中」を図る財政計画について この項目の中に「選択と集中を図り」とあるが、このまま読めば13地区に分割して施策を展開して行くことと矛盾しているのではないかと誤解を招くおそれがある。 このため、「選択と集中を図り」の前に「都市基盤、都市再生等のプロジェクトについては」との追記が必要ではないか。</p> <p>○11ページ 協働して都市広域連携を展開します 協働して都市広域連携を展開の中には、生物多様性などの環境活動も明記する必要があるのではないか。</p>	将来像・基本理念
32	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・p10 自立、自律の使い分け ・p10 下から2行目「より高い質をあげる知恵を意識」の意味がわからない。 ・p11 3行目「すべての情報を、市民と共有化」すべてでいいのか？ ・p11「都市広域連携」と「広域都市連携」とあるので整合性は？ 	将来像・基本理念
33	意見	<p>○10ページに地域経営を進めていくための3つの基本理念が出てくるが、唐突な感じがするし、なんでこの場所に地域経営の話が出てくるのか、前後を何度も見ないとなかなか理解できない。</p> <p>○4～5ページの3つの「藤沢づくり」の基本的な考え方と10～11ページにある地域経営を進める3つの基本理念、さらに12～13ページの3つの都市ビジョン等も含めたそれぞれの相互の関係、基本構想全体の中でそれぞれがどのような部分を担っているのか、位置づけ等も含めよく理解できない。</p> <p>○全体として、基本構想が全体として盛りだくさんすぎて、整理されていないのではないか。構想全体をもっと市民や職員にわかりやすいように、シンプルにかつ論理的で理解しやすい構成、内容となるよう、徹底した議論と精査、見直しが必要と思う。</p> <p>○10ページ下「より高い質をあげる知恵」の表現は意味不明。</p> <p>○11ページ「都市広域連携」「広域都市連携」の表現の統一が必要では。</p> <p>○14ページの図は「藤沢づくり」にとって極めて大きな意味を持っていると思われる。より大きくし、説明等も加えて、充実させる必要があるのでは。</p>	将来像・基本理念
34	意見	<p>① パートナースhipの中に、市民、大学・企業等の団体との公民連携により、市も含めた関係者全てにメリットが伴うよう、施策展開するなどの記述があっても良いかと思えます。</p> <p>② 行政サービスの効率化に伴い、国や県等の他の行政機関等の連携も含んでも、良いかと思いません。</p>	将来像・基本理念

No.	区分	内容	出展
35	意見	<p>・ 将来像について、「私たちの政府」は1の項で、築いていくこととしているのに、将来像として、「私たちの政府が創る」としてしまふのは、矛盾がないか。</p> <p>・ 将来像の次に、地域経営を進めていくための3つの基本理念は、構成からすると唐突の感じがする。将来像をささえる基本理念として、四角の箱で囲んだ、三つの考え方を理念として整理した方がよい。但し、現在の内容は、地域経営を進める手段としての内容に近いので、理念的な内容に変更したほうがよい。</p> <p>・ また、三つの基本理念は、前述の政府で進めるための、三つの基本的考え方も重なる内容が多い。地域経営を推進する基本方策というなかたちで、整理したらどうだろうか。</p> <p>・ 都市ビジョンについて 「…自信にみちた」という文言は、ふさわしくない。 1, 2, 3の説明文章において、課題と方向性を述べているが、課題についての表現は統一した方がよい。</p>	将来像・基本理念
36	意見	<p>2. (資料13ページ)「3. さらなる可能性を追求する創造発信都市「ふじさわ」」の本文中の「藤沢の強み、弱み」に関する記述について、例えば「産業基盤」が「弱み」の一例として掲げられているが、産業基盤の中にも「強みの要素」と「弱みの要素」の両側面があるので、「それぞれが持つ「強み」の部分を伸ばし、「弱み」の部分を克服する」等に修正したらどうか。</p>	都市ビジョン
37	意見	<p>○12～13ページ 都市ビジョンについて ～都市ビジョン～3の「さらなる可能性を追求する創造発信都市「ふじさわ」」の中で、持続可能な都市の構築の必要性が示されているが、4つ目の都市ビジョンとして、例えば「住み続けられる持続可能な都市「ふじさわ」」として独立した項目にする必要があるのではないか。そして、この項目に、公共交通を中心としたコンパクトシティ、広域交通ネットワーク、自然環境、戦略的な社会資本の有効活用や維持管理などをコメントしていく方が分かり易いのでないか。</p>	都市ビジョン
38	意見	<p>○11P 協働して都市広域連携を展開します 2 多様な都市活動が広域的に連携するまち 2行目 ※救急のみであると、「消防の救急」と「救急医療機関」と混同する。 「広域防災、救急」の“救急”の意味が「救急医療機関」であれば、「消防」(火災、救急全ての意味)を挿入 広域防災、救急 → 広域防災、消防、救急 「広域防災、救急」の“救急”の意味が「消防の救急」であれば 広域防災、救急 → 広域防災、消防救急 又は 広域防災、消防</p>	都市ビジョン
39	意見	<p>「生活者の実感として持っている思い」とは何なのか、例示として示していただけないか。</p>	都市ビジョン
40	意見	<p>「地域経営」がまち(市)の経営ということであれば、「地域経営を進めていくための3つの基本理念」の●永続的な～の「1」として出てくる「地域経営」という言葉は紛らわしいのでは。ここでは13地域のことを言っているのですよね。</p>	都市ビジョン
41	意見	<p>13ページ下段にある、「20年後の都市ふじさわの姿」と「藤沢づくりの目指す方向性」の表は、3-2と3-3の関連図であることがよりわかり易くなるように、図の中に3-2と3-3を記載する方が良いと思います。</p>	都市ビジョン
42	意見	<p>温暖化防止に関しては、「国連気候変動枠組条約締約国会議の結果や政府の削減目標を踏まえ、温室効果ガス削減に向け取り組んでいきます。」とった表記を入れてみてはどうか。</p>	都市ビジョン
43	意見	<p>・ 市民に読んでもらうには、全般的に表現が難しいように感じる。(湘南大庭) ・ P10<地域経営を進めていくための3つの基本理念>『永続的な市民主体～』の中で1地域経営となっていますが、地域経営については『政府宣言』でも説明済みだし、ここでは『地域経営』というテーマ立てより「地域主権」とかの表現の方がスマートではないでしょうか。地域経営をすすめるためって言いながら、実現方策の一つに地域経営ってテーマ立てはいいかがか。(六会) ・ 4 クリーンな市政と信頼される市政 「より身近な場所での(情報)公開と提供を積極的に進めます」とあるが、スペースなどの関係もあって情報提供さえも市民センターによっては不十分である。まず情報提供の充実を図り、必要があれば情報公開も実施する、とすべきである。「より身近な場所での…」は、「マニフェスト」に掲げられた時から疑問であった。(市民相談情報センター) ・ 基本理念と都市ビジョンについて、個々の内容は記載のとおりであるが、トータルで考えると、3つの理念と都市ビジョンの関係は不明確。(湘南台)</p>	都市ビジョン

No.	区分	内容	出展
44	意見	<p>・P10のタイトル <地域経営を進めていくための3つの基本理念> は ↓ 3つの基本理念<地域経営を進めていくために>の方がいいのでは？</p> <p>・P10の市民と創る～の1、3行目“権限の移譲”の句読点が他と違う ・P10～P11と、P12～P13において、各段落のタイトルの装飾が異なっているが、合わせる必要はないのか ・P11の5～7行目 ○ 行政の業務執行にあたっては、経済性、効率性、有効性の観点から、インターナル・コントロール改革(内部統制)やコンプライアンス改革(法令の遵守)を進めます。 を ○ 行政の業務執行にあたっては、透明性・公平性・公正性と経済性・効率性・有効性の観点から、コンプライアンス改革(法令の遵守)やインターナル・コントロール改革(内部統制)を進めます。に修正。</p> <p>・P11の11行目 広域防災、救急、広域交通ネットワーク…の広域の表現整理が必要では？ 例えば サービスの共同運営、防災、消防、救急、交通ネットワークや地域経済の活性化など、広域的都市課題…</p> <p>・P11 下段 イラスト中 神奈川県を表示を工夫した方がいいのでは？ ・P12の3-2、2段目の句読点が無く読みにくい</p>	都市ビジョン
45	意見	<p>「政府」のキーワードに重みを感じるとともに、一般的に「政治を行う所。立法・司法・行政のすべての作用を包含する、国家の統治機構の総称。日本では、内閣および内閣の統轄する行政機構をさす」とされ、市民との距離を感じさせないか。市民に親近感があるキーワードの方が良いのではないか。</p>	都市ビジョン
46	意見	<p>p13)知名度などの「藤沢市の弱み」を克服する持続可能な都市…藤沢の活力を維持向上するという意図かと思われるが、持続可能性は、サステナビリティとしての環境面の意味、イメージもあるので、個性と特色に磨きをかけ、未来へつながる藤沢を目指すほうが良い。</p>	都市ビジョン
47	意見	<p>○ 9つの区分けの中で若干のダブリ、未整理な部分があるように思われる。少し検討が必要ではないか。特に、1と4、2と3、5と9あたり。</p>	方向性
48	意見	<p>「生き生きと安心に暮らせる健康環境」に欠かすことができない「スポーツ」に関する文言を加えたい。</p>	方向性
49	意見	<p>(理由) 「共生社会」を念頭に置いた表現だとは思いますが、性別、障害の有無、言語・文化・民俗の違いだけでなく、人生というスパンの中での個人の属性の変化(学校-就業-家庭)や若者-高齢者など世代間のつながりも、『いまも未来も住み続けたいまち』にとっては重要になることから、「生涯にわたって」という言葉を追加したい。</p>	方向性
50	意見	<p>(理由) 海に面した湘南の環境を活かした「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」には、湘南ブランドを高めるのに必要な要素として「健康的な生活」の文言を加えたい。</p>	方向性
51	意見	<p>1. 「私たちの政府」という言い方がなじみにくく、表現を考えた方がよいのではとの意見があった。 2. 1行目に記載の「都市基盤の整備」等はハード面の列挙となっている。例えば、「地域福祉の推進」、「生活環境の改善」、「文化活動の支援」などソフト面の具体例も記載したほうがよい。 3. 「地域」と「地区」の用語の使い方の区別が不明確と感じる。(例えば3ページの4段落目「地域経営とは」における「地域」、「地区」の使い方など)</p>	方向性
52	意見	<p>1. 5と9の内容は別であることは理解できるが、本文中に「環境」、「歴史」、「文化」など同一、或いは類似した用語が使われており、分かりにくいという印象を持ったとの意見があった。</p>	方向性

No.	区分	内容	出展
53	意見	<p>○14～15ページ</p> <p>・4 共に生き、共に創る地域社会の創出 豊かな生活環境の創出には、市民と協働しながら進めることが不可欠であり、そのような記述を追記する必要があるのでは。</p> <p>・5豊かな自然・歴史・文化資産を次世代に継承・創出する「藤沢づくり」 自然環境については、自然の保全・創出に強くアピール必要があると思う。生物多様性への配慮、緑の保全・創出の必要性についての記述を追加した方が良いと思う。</p> <p>・6地球温暖化防止など地球環境への未来投資を進める「藤沢づくり」 太陽光・風力発電など自然エネルギー等の活用に環境負荷の低減、全体的な都市環境施策の展開の必要性や緑地の減少も環境問題の一つとしての記述を追加した方が良いと思う。</p> <p>・7「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域活力再生 都市構造の部分には、持続可能な都市へ都市構造を再構築していくということにも触れた方が良いと思う。また、土地区画整理事業など市街地整備の必要性についての記述を追加した方が良いと思う。</p> <p>・8 公共資産の有効活用と社会資本の長寿命化 社会資本の長寿命化については予防保全の観点以外にも、必要に応じて時代ニーズ、地域ニーズに合わせて新たな形へ更新していくことやPFIなど民間活力の活用など維持管理を戦略的に進めて行くことが必要になると思うので、そのような記述を追加した方が良いと思う。</p>	方向性
54	意見	<p>・p14 項目2に「明日の藤沢」と唐突にでてくると違和感がある。</p> <p>・p15 3行目「次世代に継承・創出する」の次世代に創出するがつかない。</p> <p>・p15 項目5と9の内容が重なるのでは？</p> <p>・p39 項目8にも課題として国際化をあげているのに、p14「藤沢づくり」のめざす方向性の中に項目をあげていないのは、おかしいので、項目10として「世界に視野を広げた人材の育成」をあげたい。</p> <p>グローバル社会の中であって、藤沢市といえども世界に向けて人材を輩出できる環境整備</p>	方向性
55	意見	<p>3-3「藤沢づくり」のめざす方向性 ～20年後の藤沢市をめざして、今から始める「藤沢づくり」～ の文章中、「始める」を「進める」にした方が良いのでは。(抵抗感が若干和らぐ)</p>	方向性
56	意見	<p>○3-3-2(14ページ)</p> <p>「安心して子どもを産み、育てられる生活環境や教育環境を持続・発展させることが必要」とあるが、資料編1-2-1(37ページ)には「将来の小中学校校児童生徒の減少に応じた学校再配置、学区再編と施設の有効利用を考える必要があります。」と記されており、市民の視点に立つと矛盾する表現となっているのではないかと思います。</p> <p>行政効率を考えると児童生徒数が減少した場合は学区を再編し、学校統合を行うことが合理的であると考えられます。しかし、学校統合や学区の再編は、通学時間が長くなり、交通事故や不審者等への不安が増す事となり、行政サービスの大きな低下となるのではないかと考えられます。特に学区が広い長後・御所見地区の統合再編は課題が多いのではないかと思います。この部分の考え方や表現方法については十分な検討が必要です。</p> <p>例えば「将来の小中学校児童生徒の減少期に応じた市民の教育ニーズや国の教育施策の動向をふまえた学区や学校配置等の再検討及び施設の有効利用を考える必要があります。」という表現では</p>	方向性
57	意見	<p>「古き良きものを後世に残していく土壌作りと、秩序あるまちづくりを目指す」との記述が合っても良いかと思えます。</p>	方向性
58	意見	<p>「地域自立型のまちづくり」とは何から自立するのか。「自立」という言葉には、様々な意味合いを持っており、この中での説明では不十分ではないのか</p>	方向性
59	意見	<p>・3-3の方向性については、「…必要となっています」ではなく、「…めざします。」のような文言が良いと思う。</p>	方向性
60	意見	<p>3-2の「3. さらなる可能性～」の導入部分で、グローバル化という言葉が出ましたが、方向性の中では一切国際化(国際戦略)的な部分が表現されていないのは如何でしょうか。方向性を示しておくべきだと思います。</p>	方向性
61	意見	<p>P7とP9の将来像の絵が意味するものは何なのか。</p>	方向性
62	意見	<p>P14 3. 地域力・市民力による安全で安心して暮らせる「藤沢づくり」 ①今後は医療と介護のボーダレス化が進んで考えられるので、医療(介護)という表現の方が良いのではないかと思います。 ②保健・医療(介護)・福祉の順番をお願いします。 ③文中に「高齢者」「障がい者」「健康づくり」の文言を入れてもらいたい。</p>	方向性
63	意見	<p>高齢化が進む中で地域が自立していくためには、地域での雇用の拡大や創出が求められて行くと考えられる。とりわけ社会が二極化しつつある現在、20年後、貧富の差？が一層拡大していくことが懸念される。とりわけ高齢者がゆとりある生活を送るためにも、20年後の地域での雇用のあり方なども含めていくことが必要ではないか？</p>	方向性

No.	区分	内容	出展
64	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の将来を左右する重要な項目がすべて解りやすく表現されている。 ・P4の「藤沢づくり」の基本的な考え方との整合が無いようなイメージ。つまり、方向性を全て包含できるような基本的考え方(P4)になっていないのではないか。 ・前項に記載したように基本的考え方で表現されている『地域力・市民力』が3の安全安心だけ使われているのは、少し不自然ではないか。 ・3 地域力・市民力による安全で安心して暮らせる「藤沢づくり」 「福祉」という語は出ているが、社会的弱者への配慮が具体的に見えてこない。特に高齢の一人暮らしが増加するなど、都市としての社会環境の問題がうかがわれる中で、そうした特性を捉えた理念が強調されてもよいのではないか。 ・なお、「安全・安心」に福祉や医療も含むのか、すなわちどの範囲を「安全・安心」で捉え、「医療や福祉」との境、関連をどのように位置づけるのか、全体として不統一である。 ・方向性に揚げられている各項目は、これが藤沢でなくても通用する内容に近い。新鮮な素材、生活実感から導き出したものとは思えない。ただし、内容的には必要な事項を網羅している。 	方向性
65	意見	p14) 共生についての理念は良いが、共生によって心やコミュニケーション、国際感覚や隣人を敬う気持ちなど、豊かさの具体的な内容を追求した方が良い。	方向性
66	意見	3の社会資本の老朽化・陳腐化、4の逼迫が予想される市の財政状況のとおり今後の財政状況は厳しいものと予測されます。建物等の大規模改修等の対策や税収減の影響は、今後の基本計画の中長期財政計画、実施計画の短期財政計画に盛り込まれていくことになると思いますが、実際の執行段階において効果的な資金計画ができるよう余力をもった財政計画を望みます。	沿革と取り巻く状況
67	意見	23項の下から8行目の「相継ぐ企業の工場撤退により2003年(平成15年)まで減少しました。」を「相継ぐ企業の工場撤退により2003年(平成15年)には、1兆716億円まで下がりました。」にしたほうが良いと思われる。	沿革と取り巻く状況
68	意見	<p>○19ページ「1-1藤沢市のまちづくりと総合計画の沿革」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市の都市づくりは、戦後復興の一段落した部分に、「昭和の市町村合併により現在の本市の形がつけられたことを受けて」ということにも触れた方が良いと思う。 ・北部工業団地事業のところは、北部工業開発計画に替えた方が良いと思う。 ・まとめとして、本市の都市づくりは時代の要請に応えながら、戦略的に現在の都市構造を築き上げてきた。というコメントを追加した方が良いと思う。 <p>○28ページ 5土地利用及び交通体系の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の項目に入る前に、全体的なことについてコメントした方がよいと思う。具体的にはふじさわ総合計画2020まちづくりの基本条件第2節土地利用の前段に触れた上で、人口減少社会、低炭素社会、都市基盤施設の老朽化などを新たな時代の要請を見据えながら、都市構造を構築していく必要があります。などのコメントを追加した方がよいと思う。 <p>○28ページ (3)自然空間体系について</p> <p>自然空間体系の記述の中で、新たな緑地空間の創出とあるが、どのようなイメージを考えているのか分かりにくいと思うので、記述を工夫しては。</p>	沿革と取り巻く状況
69	意見	2章P29 6地球環境の変動への対応 気温の推移の次に ◆居住や農作物等に多大な影響のある風向き等の風に関する資料も必要かと思えます。 資料編P38 6. 都市基盤・公共公益施設○2番目3~4行目を講じるを追加すべきではないか。 ◆適切な配分を講じるとともに、施設管理状況の⇒適切な配分及びライフサイクルコストの削減を講じるとともに、施設の維持管理状況のに追加すべきと考えます。	沿革と取り巻く状況
70	意見	・人口推計は、フレームとして基本構想に入れる必要があるのではないか。土地利用等についても同様である。	沿革と取り巻く状況

No.	区分	内容	出展
71	意見	<p>第2章 1-2 「5 土地利用及び交通体系の状況」について 「状況」というタイトルではあるが、内容は方向性を示唆しているのので、今後の考えるべき方向、考え方としたらどうでしょうか。</p> <p>(1)交通体系 ・交通では「産業構造・生活構造を支え」という表現は変更した方がいいのではないのでしょうか。 (産業構造:一定の地域内に存在する産.業部門の構成比率、 生活構造:?(生活時間、生活空間、所得・資産/国民生活審議会)) ・「都市拠点間、都市機能相互間を～」→「都市拠点間、都市機能間を～」に合わせたらどうでしょうか。</p> <p><以上を踏まえ、前半部分を次のようにしてはどうでしょうか。> 「都市内外にわたる産業活動や市民の生活・活動などを支え、多様な交流・連携の創出にむけ、都市拠点間、都市機能間を結び、活力を創造する交通骨格の形成が必要です。また、さらなる高齢化の進展と～」</p> <p>(2)都市拠点 ・前半の文章を整理して、以下のようになるのはどうでしょうか。 「都市拠点が継続して活力を創出するためには、社会潮流の変化や需要の変化を迅速に捉え、都市機能の集積・充実を図り拠点性を高めるとともに、「自立する都市」の形成にむけ拠点間の役割分担・相互連携が必要です。また、各拠点の持つ特性や役割にふさわしい質の高い都市空間の形成も必要です。」</p> <p>(4)市街地形成 ・「コンパクトシティ」は一般的には都市全体の構造を指すため、「コンパクトシティ形成に向けた都心部地区における土地利用誘導」等にしたらどうでしょうか。 ・西北部地域では殆ど市街化調整区域を維持しながら、限定的に新たな市街地を形成すること、「農・工・住が共生する環境共生都市」を形成するためにやること、等を含めたニュアンスを追加する</p>	沿革と取り巻く状況
72	意見	<p>・視点と課題については、今までの100人委員会の中での意見や今後の課題抽出において出てくるものを取り入れた場合、もう少しボリュームが出てくるのではないかと。 ・第2章については、第1章の中で記載した方がいいのではないかと。具体的には、「基本構想」の前が妥当と思われる。これまでの総合計画と同じようになってしまいが、現状分析を踏まえての基本構想という流れの方が理解されやすい。 ・1-2 新たな「藤沢づくり」の課題 2 安全・安心・コミュニティ 前項とも共通するが、「子育て、高齢者や弱者の介護、障害者自立支援」は、3 福祉・医療…で捉えてよいのではないかと。また、子育ては、1 子育て・教育 にも記載されている。子育てだけを捉えても、1・2・3に関連する。問題点の羅列でなく、捉える視点の統一・整理が必要。なお、「高齢者や弱者の介護」とある「弱者」とは？ 他のページには出てないようだが。</p>	沿革と取り巻く状況
73	意見	<p>30ページの「ごみ排出量の推移」の(1)の表記については、次のような表現の方が良いと思います。 (旧)本市では、……中間目標減量率25%を達成しています。 (新)本市では、……中間目標(平成22年度)減量率25%に対し27.7%と目標を達成しましたが、資源化率については、目標率30%に対し29.0%と目標値まであと一歩となっております。また、最終目標(平成28年度)減量率は30%、資源化率は35%であり、新たな施策の検討が求められています。</p>	沿革と取り巻く状況
74	意見	<p>・P15の7では、“地域、市民”で、P38の5は“地域・市民”となっている ・P21のグラフで「年齢不詳者」はどのような人か？ また、合計数の相違と世帯数の表示は？ ・P22のグラフは、白黒だと判りにくいのでは ・P23の「2025年度(平成32年度)」は、「2020年度(平成32年度)」では ・P23の2行目の「産業別人口等」を段落のタイトルにするなら、下線を挿入し、他の段落と合わせるか、数字とかで分別した方がいいのでは ・P24の「施設」と「建物」の使い方が混在していて判りにくいのでは ・P25以降 普通会計の説明が必要では？ ・P29、30のみ、他と違って図が先で説明文が後となっている ・P29のグラフ左の「1961～1990年との差」の意味が不明、平均？ また、グラフの西暦相違とこのグラフから、何をどう読み取ればよいのか分からない。</p>	沿革と取り巻く状況
75	意見	p23)2-(2)2025年度(平成32年)→2025年(平成37年)	沿革と取り巻く状況

No.	区分	内容	出展
76	意見	38項の5産業・経済・雇用の11行目の「多機能型商業環境」という文言は、地域コミュニティの形成や都市アメニティの創出、広域からの集客を促進して周辺商業の振興を図るという観点から有効であると考え、大型商業施設を核としたまちづくりのイメージが強い。 また、一般市民にわかりにくいこともあり、「地域コミュニティに根ざした商業環境」等、他の表現とした方がよいと思われる。	資料編
77	意見	OP35「1-1新たな藤沢づくりの視点」について ・人口減少社会、対炭素社会の構築を見据えた持続可能な都市づくりを進める。という視点を追加した方が良いと思う。そして、公共交通を中心としたコンパクトシティ、広域連携による公共交通体系、自然空間などを加える。 ・以上の視点に基づく課題も加える。	資料編
78	意見	・p37の「1. 子育て・教育」について、子育て支援＝親支援であり、子どもの側＝100センチの目線からの「子育て」の考え方があるべき。 ・p37の「2. 安全・安心・コミュニティ」のところに、子育て～障害者自立支援の各項目があるのはいかがなものか。「1. 」と「3. 」の項目があるのだから	資料編
79	意見	○37P 2. 安全・安心・コミュニティ 二つ目の○ 2行目 災害に強い消防力 → 消防防災力 ※より幅広く災害対応力として捉える	資料編
80	意見	33ページからの資料は3-3「藤沢づくり」のめざす方向性についてとの関係が深く、この資料内容からどのようなプロセスで、基本構想の考え方、地域経営を進める理念や藤沢づくりの具体的な9つの柱立てにつながるのかの説明が必要なのではと思う。	資料編
81	意見	○1～1の中の1から4に対し、5では文末が「必要である。」となっているが……。 また、1～1の「である調」に対し、1～2では文末が「ます調」となっているが……。 ○「1-2 1. 子育て・教育」の○2項目に加えて ○変容する子どもたちの現状に対応するため、児童生徒ひとりひとりのニーズに応じた指導がますます必要とされています。 ○教育に求められるものが多様化している中、地域力・市民力が活用される開かれた学校づくりが求められています。 ○団塊の世代の大量退職期を迎え、熱意と使命感を持った教員の確保・育成が急務となっています。を追加。	資料編
82	意見	資料編P37 1. 子育て・教育の中 ◆全国的な学力低下に伴って、その対策に関する記述も必要かと思えます。	資料編
83	意見	市長室としては、これまでの都市親善による特に海外との交流の成果が、多くの市民に還元されているか検証する時期にきていると考えています。 (2)「オール藤沢」として国際戦略を展開する意味で、市内の企業や大学などと国際交流に関する連携を構築する必要があると考えています。 また、市の組織の横断的な協力体制の整備も必要と考えています。 (3)海外の都市とのより積極的で、効果的な交流を展開する事を目指し、国際化(世界)ビジョンを構築し、方向性を示す必要がある。	資料編

No.	区分	内容	出展
84	意見	<p>P37 1-2. 新たな「藤沢づくり」の課題 3. 福祉・保健・医療・健康 ①保健・医療(介護)・福祉・健康の順番でお願いします。 ②「障害者」という表記は「障がい者」にした方が良いと思います。 ③6行目「様々な障害や病気を持つ人が増え」という表現はどうだろうか。この項目を「高齢化の進展と生活習慣の多様化に伴い、住み慣れたところで暮らせるように相談できるシステムを確立することが重要となります。」に変更できるか。 ④11行目「「藤沢づくり」の必要があります。」を「藤沢健康づくり」を推進するための環境整備が必要となります。」に変更できるか。</p> <p>5. 産業・経済・雇用 ①4項目に、「農産物の供給について、安全な食の追求と地産地消の推進を図る。」を入れられるか。</p>	資料編
85	意見	<p>37ページの「4 地球環境・廃棄物」については、次のような表現の方が良いと思います。</p> <p>(旧)現在の環境問題は、……水質の悪化など身近な生活環境問題から……</p> <p>(新)現在の環境問題は、……水質汚濁、大気汚染及び騒音などの身近な生活環境問題から……</p>	資料編
86	意見	<p>少し細かくなりますが、「I. 新たな「藤沢づくり」の視点と課題 1-2. 新たな「藤沢づくり」の課題 3. 福祉・保健・医療・健康」についての意見は、別紙のとおりです。</p> <p>P37 資料編「三層構造のプロセスから発意された「藤沢づくり」の視点と課題」 I. 新たな「藤沢づくり」の視点と課題 1-2. 新たな「藤沢づくり」の課題 3. 福祉・保健・医療・健康 ○「いつでも安心して受けられる医療の充実」を実現するため、市民病院のあり方をはじめ、予防医療の充実、災害時の救急拠点病院の推進など、市町相互協力による広域救急システムを整備する必要があります。</p> <p>1 ○「いつでも安心して……」以下の文言の趣旨が分かりづらい。具体的に挙げると、 ①「市民病院のあり方」についてどうするのかについて記載がない。市民病院のあり方について再検討していく、又は見直していく必要があるという意味なのか？ ②「災害時の救急拠点病院の推進」について、救急拠点病院をどうすることについて「推進」するのか？「大規模な災害発生時に患者等の治療・収容を担う災害医療拠点病院の機能の強化、充実を推進する。」という意味なのか？ ③「市民病院の充実をはじめ、予防医療の充実、災害時の救急拠点病院の推進など、」の文言が全て「市町相互協力による広域救急システムを整備する必要があります。」にかかると読めてしまうが(下表参照)、「市民病院の充実」や「予防医療の充実」は「市町相互協力による広域救急システムを整備」につなげるものではない。 ④「市町相互協力による広域救急システム」とはどのようなものをイメージしているのか？ → 広域救急については、県及び湘南東部地域保健医療圏の中で、すでに一定の体制整備が行われており、藤沢市民病院の救命救急センターを中心に十分機能していると市民病院では認識しているが、具体的にどここの部分が不足していて、それは「市町相互協力による広域救急システム」を構築する上で必要か？</p>	資料編
87	意見	<p>・ふじさわ総合計画2020にもあるように、基本構想に新たに章を設けて、「人口フレームの目標」と「都市構造の方向性」について記述していく必要があると思う。</p> <p>・市民に分かりやすい表現や言葉遣いにした方が良いと思う。カタカナは極力使わない方がいいと思う。使う場合には用語説明が必要だと思う。例えば、枠組とフレーム・地域社会とコミュニティなど、同じような意味の言葉を使い分けているが、統一するか使い分けるのであれば注釈をいれるなど。</p>	その他
88	意見	<p>「障がい者」と「障害者」の文言の使い分けは考えているのか？ ・p35・p36のである調とですます調になっている。 ・全体を通じて、難しい漢字・語句・言葉が多い感じがする。中学生くらいでも理解できる内容がいいのでは。 ・「私たちの政府」宣言の16行目、「夢をかなえる公共」「充実生活づくり」のキャッチコピーが、あまりにも唐突すぎる感じがする。 ・キャッチコピーが多すぎて、ひとつひとつの印象が薄まる感じがする。</p>	その他
89	意見	<p>○短時間の中でここまでまとめられたことに敬意を表すが、残念ながら全体的に理解しにくい内容、さらに校正を重ねるべき部分が多すぎるように思う。全体構成のあり方の議論と徹底した見直し、表現、文言の整理と精査、見出し及び見出し番号の工夫等が必要と思う。</p>	その他

No.	区分	内容	出展
90	意見	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想の構成として、第1章のⅢに「基本構想」があるが、この部分のみが基本構想なのか、全体を含め基本構想なのか。 前回の総合計画では、基本構想の中の基本理念・基本目標を支えるまちづくりの基本条件として、「人口」(20年後の想定人口)「土地利用」(将来の土地利用の方向性)が示され、それが都市マスタープランの全体構想とリンクしていたが、今回はそれが無い。但し、第2章「まちづくりの沿革と取り巻く状況」の中で、人口と土地利用についての記載がある。そこで以下の質疑をしたい。 ① 第2章の基本構想での位置づけはどのように捉えたらよいのか。前提条件としてとらえるのか、単なる状況報告なのか ② この中の「人口」「土地利用」については将来の方向性として捉えてよいのか。 	その他
91	意見	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想の構成として、第1章のⅢに「基本構想」がありますが、この部分のみが基本構想なのか、全体を含め基本構想なのか。 前回の総合計画では、基本構想の中の基本理念・基本目標を支えるまちづくりの基本条件として、「人口」(20年後の想定人口)「土地利用」(将来の土地利用の方向性)が示され、それが都市マスタープランの全体構想とリンクしていたが、今回はそれがありません。但し、第2章「まちづくりの沿革と取り巻く状況」の中で、人口と土地利用についての記載があります。そこで以下の質疑をします。 ① 第2章の基本構想での位置づけはどのように捉えたらよいのか。前提条件としてとらえるのか、単なる状況報告なのか ② この中の「人口」「土地利用」については将来の方向性として捉えてよいのか。 	その他
92	意見	<ul style="list-style-type: none"> ①やはり全体を通して市民目線の分かり易い用語を用いて、誰もが親しみを持てるような表現の方が良いと思います。 ②昭和39年に制定された藤沢市市民憲章についても、今までの藤沢づくりの大切な経過として、新総合計画の中に取り込んでいくべきではないかと思えます。 	その他
93	意見	<ul style="list-style-type: none"> 全般的にシンプルな表現にすることで、市民に親しんでもらえる総合計画になると思います。 第1次素案全体を通して。総合計画は市民のもの、という視点からすると、幅広い年代層の人にとって親しみやすい(=平易で読みやすい)文章が求められると思う。 全体的に言えることですが、横文字や普段使わない言葉などは、注釈が必要だと思います。 	その他
94	意見	<ul style="list-style-type: none"> 視覚にうったえるため、適宜写真を挿入したらどうか？ ローマ数字を使用した方が見やすいのでは？ (例) P14 3～3 の次に 1～9 → Ⅲ-3 の次に 1～9 など 	その他
95	意見	<ul style="list-style-type: none"> 1. カタカナ語を始めとする、意味が分かりにくい言葉については、注釈を加えたり分かりやすい用語に修正した方がよい。 	その他

新総合計画基本構想（第一次素案）に係る意見提案等

わいわい・がやがや・わくわく
会議

No.	区分	内容	出展
1	意見	政府という言葉がハードルの高い、市民から見たら遠く感じるような言葉ではないでしょうか。文章中の「私たちの政府」は「私たち」だけでも身近に感じられますし、共に創り上げていく印象があります。宣言は、「私たちの藤沢」宣言としてはいかがでしょうか。 「政府」という仕組みを強調するのではなく、一緒に知恵を出し合いながら築いていきましょう、というメッセージを込めたいと思います。	私たちの政府
2	意見	言葉の定義が分かりません。「地域」「市民」言葉が指すものがはっきりしないと思います。また、英語を引用する意図がわかりませんでした。	私たちの政府
3	意見	・最初から文字ばかりなので、入っていきづらい。図とか絵とかを使ってみた方がよい。 ・政府とっているが、言葉の定義がないので分からない。 ・やたらに英語やカタカナ語があるが、必要性を感じない。 ・地域コミュニティ、地域市民、コミュニティ等、使い分けが分からない。	私たちの政府
4	意見	・「」の使い方、多用している意図が分からなかった。キーワードなのか。 ・「Think Fujisawa, Act together」「Think future, Act now!」似ている表現で同じ中に出てくると、ぶれてインパクトが弱まる。	私たちの政府
5	意見	・地域間で格差が生じたときの市の姿勢は？（北部・南部での資源の違いは、高齢化年代層の違いが出る。） ・地域力、市民力という意識が地域の人にはどこまであるか疑問 ・地域社会と地域経済は利益（利害）相反することがある。市全体の長期的な利害を誰が地域と調整するのか分かりにくい。	私たちの政府
6	意見	内向きの話が多く、外とのつながりをもっと書いた方がよい。	私たちの政府
7	意見	・要点を簡潔に記載した部分が欲しい。 ・「地域市民」「コミュニティ」の定義が曖昧である。	私たちの政府
8	意見	・誰の目線での宣言かが不明瞭である。行政からの目線、市民からの目線、共同宣言という流れで、双方の目線で分けたほうがよいと思う。 ・全体的にもっとまとめて良いのではないか。 ・キーワードが多すぎるので、ある程度言葉を絞った方が良いのではないか。 ・一文一文が長すぎて、それぞれ何を言いたいのか分からない。 ・外来語が多く、全世代に向けて出すものとしてはそぐわないのではないか。	私たちの政府
9	意見	・一読して理解できるよう簡単にまとめて欲しい。「私たちの政府」を宣言する必要性が心に残らない。 ・カタカナ語や英語を多用することによって、逆に内容が分かりづらくなっている。 ・括弧書きが多い。何が重要なのか分からなくなってしまう。 ・何度も同じことを言っている気がする。	私たちの政府
10	意見	表題に「基本構想」とありますが、中身では第1章Ⅲのところしか基本構想と出ていないので、分かりづらい気がします。 P4～の基本的な考え方とP10～の基本理念の考え方が結びついていないと思います。基本的な考え方、基本構想、基本理念、ビジョンの位置づけがよく分かりません。	基本構想
11	意見	・「ふじさわ」「藤沢」の表記の違いがわかりませんでした。 ・字が多いので、パッと見て分かり易く、絵やイラストで表現したら良いと思います。 ・「湘南」の定義がわかりませんでした。 ・行政用語が多いと思います。	基本構想
12	意見	・基本構想の中に基本構想があるのは分かりにくい。 ・3-1、3-2、3-3で3分割されているが、分けている意味がよく分からない。 ・サブタイトルが分かりにくいので、何が言いたいのかタイトルからはつかめない。	基本構想

No.	区分	内容	出展
13	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・<将来像>の中に、「いま」が入っている。 ・「藤沢」と「ふじさわ」の使い分けが不明瞭 ・「Think～, Act～」がくどい。 ・スケールメリット、インターナル・コントロールなど、カタカナ用語が市民に分かりにくい。 ・p11の図がわかりにくい。 	基本構想
14	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・p14「すべての市民」はイメージが広すぎる。対象を掲げて方向性の分かるようにしたほうがよい。 ・p15, 項目の主旨がわかりにくい。5, 6, 9の差異ははっきりと伝えたい。 ・p17～の資料が長く、読むのがつらい。問題点を箇条書きにしてまとめ、その後に説明をしたほうがよいと思う。 	基本構想
15	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉に斬新さが欲しい。 ・「私たち」「藤沢」をもっと強調して、共有するものとして見せたほうがよい。 	基本構想
16	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・構成がわかりづらい。レイアウトを工夫した方がよい。 ・p14～15のインパクトがない。 ・3-1, 3-2, 3-3の関係が分からない。 ・p7 総合計画の構成に載っている図がバランスが悪い。印象が弱い。1つ1つのシンボルが小さくなっていて、何が大切な部分か分からない。無理にカワセミくんを使わなくてもよいのではないか。 	基本構想
17	意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「クリーンな行政と信頼される行政」「社会環境, 生活環境」など反復する表現がくどい。 ・「生活者の実感として持っている思いを20年後に～」は現在の実感だけでなく予測を踏まえていることを追加した方がよいのではないか。 	基本構想

市民電子会議室での第一次素案に対する意見

第1章 私たちがめざす藤沢の未来

I. 「私たちの政府」宣言

- ・ 市民が何らかの活動に参加すれば地区のことを決めたりできると書いてあるが、市全体の施策や事業に対しても「市民力」「地域力」が活かされ、市民の声が尊重されるようであるべき。
- ・ 「私たちの政府」宣言について、学者ではないので深い意味はわからないが、言葉遣いにおどろきと違和感を覚えた。大上段に振り構えている印象や、他の部分と見比べても浮いてしまっている印象を受ける。このような全体に関わる概念的な部分で独自の表現を用いることができたらい。 (ただし、多くの人にじっくり来る言葉)
- ・ 藤沢市を「私たちの政府」と呼ぶことにより、国の政府との関係がどのようになるのか疑問。

II. 新総合計画の枠組みと基本方向

III. 基本構想

- ・ 網羅性が高いが、全部できるのか心配。
- ・ 「行政主導」から「市民主導」「市民自治」の方向に舵を切り換える大きな変化にあたり、市民も相応の心構えが必要になる。行政に携わる人を筆頭に、市民ひとりひとりの意識も、どのように新しい時代に向けて醸成していくのかという点が盛り込まれるといい。
- ・ 市民の、まちづくりに対する意識や姿勢のあり方についても宣言してみてもどうか。そうすることで本来の市民目線、市民本意の計画ができあがるのではないかと。

3-1. 将来像と基本理念

- ・ 藤沢市は、市民集会→暮らし・まちづくり会議→地域経営会議と変化してきたが、委員会組織等に参加しない市民の意見も汲み取られるようにすべき。例えば住民投票制度。
- ・ 新総合計画では、その存在が前提となっている地域経営会議についても、時代やその時々状況に合わせて問題点などがあれば、聖域なき改革をしていくべき。

3-2. 地域、市民と行政がめざす20年後の都市ふじさわの姿 ～都市ビジョン～

- ・ 「一人ひとりの市民が夢や希望を持って…」とは書かれているが、20年後に格差の拡大が進む可能性も想定される。格差のない(あるいは、格差を最小限に抑えられるような)市を目指すべき。
- ・ 「藤沢ライフスタイル」「湘南カルチャー」の内容が不明。それぞれに「藤沢」「湘南」

という地名を接頭しているが、その意図も明確でない。

- ・ 地域が学生や若者の可能性を生かす場であり、それが地域にとっても活力になっている、そんな街になったら素敵だと思う。(例：湘南台)
- ・ 市民一人ひとりがみんなのことみんなで考えていくことで、今よりもっとやさしい藤沢の街になっていく。そのために今何ができるかも考えるべき。

3-3. 「藤沢づくり」のめざす方向性 ～20年後の藤沢市をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～

- ・ 高齢者も、車いすやベビーカーでも、江の島の灯台やまちなかを自由に行き来して楽しむこともでき、「藤沢に住んで長生きしてよかった」と思えるような20年後でありたい。
- ・ 江の島や湘南地域に交流人口を増やすためにも、それらの地域をユニバーサルな観光地としていくべき。

全体

- ・ 本計画独自の言葉や、曖昧な言葉を用いる場合には、定義があったほうがよい。「市民力」「地域力」の定義や具体的なイメージもわからない。
- ・ 用語、表記の統一。文章のブラッシュアップに期待。
- ・ 様々に多様な藤沢市感が吐露されているから、構想文と今後の計画文に落とし込む、溶け込ませる際の主催側の文書作成力を問われている。
- ・ “基本構想”とは、素案で提示されている文書全体をいうのか、第1章のⅢのみを指すのか？全体で「基本構想」とするならば、第1章のⅢは「基本理念」または「都市ビジョン」としてはどうか。体系の整理を。
- ・ 言葉はきれいだが、市民に、読んでいて心が温まるような感覚、心にピンとくる感覚がない。
- ・ 限度はあれど、内容の1つ1つについてもっと議論が必要。
- ・ 自分とは離れた、どこかで誰かが言っている…というような印象や、藤沢産といえるのかどうかかわからない素案を原料にして始まっている印象がある。それに藤沢市の市民委員や市民からの意見や「気づき」という藤沢産の調味料で味つけしても、藤沢ならではの基本構想になるかどうか。今後を見守る。
- ・ 「市民力」「地域力」という言葉ばかりで、行政の責務や市民の権利などがふれられていない。
- ・ 新たな構想を総合的にバランスよく具体化していく知恵、勇気、人材（育成）が求められる。個々に進めてバラバラになることのないように。

会議室名:(市)未来地図を描こう！新しい総合計画に向けて

会議室説明:2011 年にスタートする藤沢市新総合計画について幅広く意見交換をするための会議室です。

期間1:2009/1/6 ~ 2010/01/14【基本構想第一次素案についての意見交換として行われたもの】

※期間中の発言を全て掲載

=====

表題:[mirai2011:130]<進行> 基本構想第一次素案についての意見交換と提出

日時:2010/01/06(水) 15:19:09

本年もどうぞよろしくお願いいいたします。さて、ご発言いただいているように、現在、新総合計画基本構想の第一次案について、パブリックコメントが実施されています。

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kikaku/page100168.shtml>

こちらの会議室におきましても、この第一次案について、ご意見をいただき、市民電子会議室で意見交換されたものとして、パブリックコメントとは別に、総合計画審議会に提出することとなりました。案の内容は、こちらで見ることができます。(PDF ファイル)

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/content/000294697.pdf>

パブリックコメントによる、独立した意見とはまた別に、他の方との議論をしながらの意見や方向性が出てくるのが、市民電子会議室ならではの特徴でもあります。ぜひ、こちらにもご意見をお寄せいただければと思います。期間は、【1月13日】までとさせていただきます。期限までにいただいた内容を、前回同様全文の添付と、どのようなことが話されたかというトピックにとりまとめたものを、(前回よりも少し詳しくできればと考えています)総合計画審議会に提出いたします。

年末にみなさんに意見交換いただいた、「みんなで江の島の灯台に上がれたら…」というような内容を、実現できるための根拠となるような構想も盛り込めるといいですね。基本構想ですので、個別の計画や具体的な内容にふれるものではありませんが、こういった具体的なことをイメージしながらの、(いい意味で)漠然とした、ふわっと包み込めるような構想が描かれたらいいなと思っています。どうぞよろしくお願いいいたします。

=====

表題:[mirai2011:132]Re: <進行> 基本構想第一次素案についての意見交換と提出

日時:2010/01/13(水) 07:49:03

- > こういった具体的なことをイメージしながらの、
- > (いい意味で)漠然とした、ふわっと包み込めるような構想が
- > 描かれたらいいなと思っています。

こんなこと書かれたら、私はとてもそんな事書く自信ありませんから意見交換も自重してましたが、パブコメには、行政が今後も市民の声を聞いたり尊重すべき事などがまったく書いて無い事、格差の拡大がさらに拡大した未来が想定されてない事、地域経営会議の問題点が意識されてない事、住民投票も書いて無い事、など書きました。

私の30年後の夢を1つ書くと、これは、住民投票で新駅から何から決める、住民が自分で決める藤沢市になって欲しい、という事ですかね。ところで、江の島にロープウェイという計画は、昭和3年にあったという事が江の島会議室で、書かれていますね。認可されているとも。あと、私も図書館で、昭和25年に旧灯台が建つ時、そういう構想もあった事が書いてある本を読みました。ただ、旧灯台という開発には島の中で反対があった事も書かれています。本当にそういう構想をやるとすると、地元の人々の合意が大事ですね。

表題:[mirai2011:133]江の島にロープウェイを。(一步前進?)

日時:2010/01/13(水) 11:13:06

みなさん、今年もよろしくお願ひいたします。さっそく「江ノ島会議室」へお邪魔してきました。

[573] <進行> Re: 藤沢市海洋総合博物館建設計画とは？

[574] Re: <進行> Re: 藤沢市海洋総合博物館建設計画とは？

昭和3年にすでに計画があったんですね！昭和25年に旧灯台が建つ時にも、お話が出ていたとか。びっくりしました。江の島への思いを大切に、そして江の島で暮らしている方々の生活も大切に考えながら、「多くの方々と展望台からの眺めを共有したい」という願ひも叶えられたら。

新しいことをしていくということの難しさ、ボタンの掛け違いでややこしくなってしまうことなど、ニュースなどで見聞きしていますが、急がずあわてずじっくり話し合いを続けていく中で、わかりあっている円満に解決していく知恵も浮かぶのではと思っていますが、、、。(これだけではないので簡単ではないでしょうが)。

なにはともあれ、思いがけないお話が聞けたこと、うれしかったです。

ありがとうございました。

表題:[mirai2011:134]<進行> Re: <進行> 基本構想第一次素案についての意見交換と提出

日時:2010/01/13(水) 17:42:24

こんにちは。書き込みありがとうございます。パブリックコメントも出されたんですね。

私の理解が間違っているといけないのでいくつか質問ですが、> 行政が今後も市民の声を聞いたり尊重すべき事などがまったく書いて無い事、> 格差の拡大がさらに拡大した未来が想定されてない事、> 地域経営会議の問題点が意識されてない事、> 住民投票も書いて無い事、など書きました。

これらは、思いとしては、

- ・行政は今後にもわたり市民の声を聞いたり尊重すべきである
- ・①格差の拡大がないことを望みたい、または②格差の拡大は必ずさらに拡大するので、その想定をすべきだ
- ・地域経営会議を進めていく上で問題点などをその都度意識し、問題点については対応や制度の再検討をすべき
- ・住民投票があったほうがいい、ということよろしいでしょうか？

2つめのは、①か②か、それとも両方でしょうか？

> 私の30年後の夢を1つ書くと、これは、住民投票で新駅から何から決める、> 住民が自分で決める藤沢市になって欲しい、という事ですかね。これはわかりました。

＞ 本当にそういう構想をやるとすると、地元の人々の合意が大事ですね。信永さんも書かれていたが、私もそう思います。

このケースに限ったことではないですが、自分の意見と違う結果になるかもしれないけれど“合意形成を図ろうとする姿勢”を、人は、持たなければいけないのだろうなとも思います。難しいですよね。ちょっと話が総合計画基本構想から外れました。

表題:[mirai2011:136]Re: <進行> Re: <進行> 基本構想第一次素案についての意見交換と提出

日時:2010/01/13(水) 23:41:14

ご意見とご質問ありがとうございます。私1人しか書かないし、しかも、パブコメに書いてしまっているし、意見を本当に審議会に届けるのかどうかは、お好きなようにお考え頂いて結構です。

しかし少なくとも、議論の種になるかもしれないので、書いておきます。

＞ ・行政は今後にわたり市民の声を聞いたり尊重すべきである

これは詳しくはパブコメで、以下のように書きました。

＞ 「私たちの政府」宣言も、基本構想も、市民が何らかの活動に参加すれば「市民力」「地域力」といった事により、地区内の事には影響力を持てるような事は書いてあります。しかし、藤沢市の施策や事業や投資などの中では、「市民力」「地域力」以外のものが、予算規模などから依然として大部分を占めるのでしょうし、それら大部分の施策や事業や投資などに対し、行政が市民の声を聞いたり尊重すべき事などがまったく書いて無いというのは、どうも市民に利益が乏しいと思えます。市民は自分で活動し、市に要求を出すな、という構想にも思えますね。

＞ ・①格差の拡大がないことを望みたい または ②格差の拡大は必ずさらに拡大するので、その想定をすべきだ、

必ずとは言えませんが、格差の拡大がさらに続く可能性は大きいとは思ってますけど、その可能性を当然想定して、そうなった場合にも、被害が最小限に抑えられるような藤沢市、そういった藤沢も目指して欲しいんですが。たとえば、3-2. 地域、市民と行政がめざす 20 年後の都市ふじさわの姿にそういったものは、私は見出せなかったんですが、どうですか？

＞ ・地域経営会議を進めていく上で問題点などをその都度意識し、問題点については対応や制度の再検討をすべき

そうですね。新総合計画はその策定以前に、地域経営会議の存在は前提にされているわけで、策定の中では聖域化されているような気がします。

＞ ・住民投票があったほうがいい

そうですね。市民集会 → くらまち → 地域経営会議 という変化を、進歩と考える市役所の人はい多いんですが、市民に上と下が生まれてしまう委員会というものが、住民誰もが集まり発言できる場所より勝るんでしょうか。たとえば、村岡地区まちづくり会議のまちづくり会議ニュースの、8号 村岡地区まちづくり計画(素案)についての「説明会」

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/content/000293373.pdf>

9号 「村岡地区まちづくり会議(第8回)」

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/content/000294485.pdf>

これなどを読むと、どちらを住民の多数意見ととった方がいいのか、住民投票でもあればはっきりすると思います。

表題:[mirai2011:137]訂正

日時:2010/01/14(木) 00:00:35

[mirai2011:136]

> 私1人しか書かないし、失礼いたしました。訂正します。ご意見を書かれておられましたね。今年もよろしく願いいたします。

表題:[mirai2011:138]<進行> Re: <進行> Re: <進行> 基本構想第一次素案についての意見交換と提出

日時:2010/01/14(木) 01:06:53

>> ・行政は今後にわたり市民の声を聞いたり尊重すべきである

> これは詳しくはパブコメで、以下のように書きました。

>> 「私たちの政府」宣言も、基本構想も、市民が何らかの活動に参加すれば「市民力」「地域力」といった事により、地区内の事には影響力を持てるような事は書いてあります。しかし、藤沢市の施策や事業や投資などの中では、「市民力」「地域力」以外のものが、予算規模などから依然として大部分を占めるのでしょし、それら大部分の施策や事業や投資などに対し、行政が市民の声を聞いたり尊重すべき事などがまったく書いて無いというのは、どうも市民に利益が乏しいと思えます。

> 市民は自分で活動し、市に要求を出すな、という構想にも思えますね。

そこまでは思えませんが、「市民力」「地域力」というものが、地区ごとの事業に対する影響力だけに使われるのではなくて、市全体に関わる事業や、市の行政に対しても、十分に活用されるべき、ということはあるですね。

> 必ずとは言えませんが、格差の拡大がさらに続く可能性は大きいとは思ってますけど、その可能性を当然想定して、そうなった場合にも、被害が最小限に抑えられるような藤沢市、そういった藤沢も目指して欲しいんですが。たとえば、3-2. 地域、市民と行政がめざす 20 年後の都市ふじさわの姿にそういったものは、私は見出せなかったんですが、どうですか？

そうですね。。。

「一人ひとりの市民が夢や希望を持って『いつまでも住み続けたい』『再び住み続けたい』という人を惹きつける生活実感を感じ取る…」というところに、頑張れば見出せるかもしれませんが。。。

(しかし、なんだかやたらくだい文章だなココ)

ちなみに、少し外れますが、この部分の後に出てくる「藤沢ライフスタイル」「湘南カルチャー」は、私にはちょっと「?? ?」で、つかみにくいです。そもそも一体どのような内容を指しているのかわからないですし、それぞれに「藤沢」「湘南」とつけた理由も知りたくなります。(P.15 では、「湘南の環境と文化、ブランド力などの地域の資源を活かした、魅力的な生活(「藤沢ライフスタイル」)の環境

と…」と書いていますが、「湘南の～」なのに、「藤沢ライフスタイル」なのかな？など疑問。）
どこかで定義をするのかな？この部分に限らず、計画独自の言葉や、逆に曖昧な言葉を用いる際には、それぞれについて定義がなされていたほうがいいなあと思います。

表題:[mirai2011:139]<進行> 基本構想第一次素案についての意見交換と提出

日時:2010/01/14(木) 01:23:08

もう時計上は13日を終了してしまっているのですが…。

用語や表記の統一や、文章の国語的なブラッシュアップなどは、私などが細かく申すまでもなく、関係者の方々の間でもきつと作業がなされると思いますので、それに期待したいと思っています。全体として一つ素朴な疑問があるのですが、今回「基本構想第一次素案」ということで提示されているこの内容で、その中の、第1章のIIIとして「基本構想」がありますよね。基本構想は、このIIIの部分を用いるのか、それとも提示されている文書全体(第1章、第2章+資料編?)を用いるのか、どちらなんだろうか?と思いました。

全体で“基本構想”であり、第1章のIIIは、基本理念または都市ビジョンなのかも考えられます。このあたりの体系の整理も合わせてしていただけるといいなと思いました。

表題:[mirai2011:135]<進行> Re: <進行> 基本構想第一次素案についての意見交換と提出

日時:2010/01/13(水) 23:18:17

長いこと留守をしていて発言が途切れていました。大変失礼しました。

今素案を読んでいるところですが、時間切れになりそうなので、一市民として、一つ・二つ感じたことを発言します。

まず、出だして「{私たち政府}宣言、「政府?なんじゃこりゃ!、ずいぶん大上段に振り構えているなあ〜!」。学者ではないので、深い意味はわかりませんが、ちょっと違和感がある言葉遣いでビックリしました。

内容(理念・ビジョン)については網羅性が高いですね〜、「全部できるの?」、心配になるくらいです。もう一度じっくり読ませていただきますが、今回は大雑把な感想で恐縮です。

1. 新しい構想に、行政に携わる人を筆頭に市民ひとりひとりの意識をどのように新しい時代に向けて醸成していくのか、そんな点が盛り込まれるといいですね。

何でそう考えるか、それは大括りで言えば「行政主導」から「市民主導、いわゆる市民自治?(適切な言葉が見つかりません)」の方向に舵を切り換えるからです。これは大きな変化だと思います。市民も相応の心構えが必要になるでは、であるならば、構想の段階から何らかの形で知らしめる必要があると思いました。それとも、この類は基本計画若しくは実施計画の段階で盛り込まれるのでしょうか、分かりませんが、新たな構想を推し進めるには意識を変えることが成功の鍵になると思えてなりません。

2. もうひとつは、新たな構想を総合的にバランスよく具体化していく知恵と勇気、いや人材かな、それとも人材の育成、が求められると思います。個々に進めた結果、バラバラになってしまった話は

今まで山ほど見聞きした話でした。この話も基本計画若しくは実施計画の段階で盛り込まれるのでしょうか、分かりません。

3. 最後に、読んでいて心が温まるような感覚は生まれてこないですね～。太陽がふりそそぐ湘南藤沢は暖かい町なのに、何でかな～、分かりません。そもそも、そんなこと基本構想に求めるのは無理な注文ですかね～？取りあえず、以上で～す。

表題:[mirai2011:140]〈進行〉 Re: 〈進行〉 Re: 〈進行〉 基本構想第一次素案についての意見交換と提出

日時:2010/01/14(木) 01:42:01

コメントとご意見、ありがとうございます。

> まず、出だして「私たちの政府」宣言、「政府？なんじゃこりゃ！、ずいぶん大上段に振り構えているなあ～！」。学者ではないので、深い意味はわかりませんが、ちょっと違和感がある言葉遣いでビックリしました。

30 回くらい読むと、なんとなく言いたいことは分かるような気もするのですが、それにしても、「政府」という言葉とニュアンスは、この基本構想のほかの部分を見ても、少し浮いてしまっているように感じます。ガバメント、ガバナンス、という英語だと、なんとなくごまかされるのか、逆にしっくりくるのですが(笑)、こういう全体に関わる概念的な部分で、藤沢オリジナルの表現を持ってこれたら、きっといいですねえ。みんなにしっくり来る言葉でなくてはいけませんから難しいですが…。

> 1. 新しい構想に、行政に携わる人を筆頭に市民ひとりひとりの意識をどのように新しい時代に向けて醸成していくのか、そんな点が盛り込まれるといいですね。何でそう考えるか、それは大括弧で言えば「行政主導」から「市民主導、いわゆる市民自治？(適切な言葉が見つかりません)」の方向に舵を切り換えるからです。これは大きな変化だと思います。市民も相応の心構えが必要になるでは、であるならば、構想の段階から何らかの形で知らしめる必要があると思いました。

昨日の発言の中で、合意形成に関してちょっとつぶやきましたが、市民の、まちづくりに対する意識や姿勢のあり方のようなものも、まさに基本構想の中で、それこそ“宣言”してみてもどうかと思います。そういうのが入っていて初めて、行政目線の計画ではなく、(行政目線では「市民がもっとしっかりしろよ」とは言いにくいだろうし)本来の市民目線、市民本意の計画ができあがるのではないかとすら思います。

> 3. 最後に、読んでいて心が温まるような感覚は生まれてこないですね～。太陽がふりそそぐ湘南藤沢は暖かい町なのに、何でかな～、分かりません。そもそも、そんなこと基本構想に求めるのは無理な注文ですかね～？

ハートにピンと来ないという感じでもありますか？内容では「生活者の実感」ということが重要視されているようですが、構想全体を読んだ感覚としてはどうかな？確かに、もう少し、体温を感じられるというか、手ざわり感のある(?)内容になるといいなという感想を持たなくもないです。文面の問題でしょうか？内容の問題でしょうか？自分とは離れた、どこかで誰かが言ってる…みたいな印象にならないためには、どのように磨き上げていけばいいのでしょうか。もっともっと内容の1つ1つについて議

論することかな？とも思いますが、限度もありますよね。

ひとつは、引き続きしっかりと見守って、関心を持っていくことだと思います。同時に、そういう人の輪も広げていきたいものです。

期間 2:2009/12/14 ~ 2010/01/14 【基本構想第一次素案提示後から上記期間以前まで】

※基本構想に関わる発言スレッドのみ抜粋

表題:[mirai2011:114]<進行> 湘南台のコンセプトづくり~こんなのが出てきました

日時:2009/12/24(木) 17:43:27

先日、現在や未来の藤沢らしさについての意見交換は、一旦とりまとめをさせていただきましたが、せっかくの場ですので、引き続き発言をしてみたいと思います。

※11/9 に投稿された、

発言 No.90 と No.91「湘南台らしさ」に続けて書いています。

慶應 SFC の研究室で、湘南台のコンセプトづくりのワークショップをしたそうです。最終的に出てきたものが、以下の8つ。

- 1、小筑波 →大学のいっぱいある湘南台周辺、筑波のような学術都市を目指そう！
- 2、通楽
- 3、青春の町 →若者もミドル層も青春するまち
- 4、湘南台キャンパル
- 5、ゆりかごから墓場まで~湘南台~ →若者からお年寄りまで楽しんで生活できる
- 6、小田急線EXILE駅
- 7、海なきかもめ食堂 →かもめ食堂のように趣きのある飲食店の多くあるまち、でも海はない
- 8、It's a SMALL WOELD~No Disney,Yes Shonandai~(2)

→乗り物、工場、外国の方、大学など色々な側面のあるまち湘南台

最も人気投票で上位だったのが4番、次いで8番だったそうです。ほかに、審査員特別賞というのがあって、2番と5番と7番が受賞したそうです。このコンセプトがどうやって出てきたのかの連想図の画像ももらっていますので、なんとかしてご紹介したいと思います。

表題:[mirai2011:115]<進行> Re: <進行> 湘南台のコンセプトづくり~こんなのが出てきました

日時:2009/12/24(木) 18:03:54

出てきた湘南台のコンセプト。出てくるに至った連想図を URL のリンクでご紹介します。

(URL が折れて分割してしまっている場合はつなげて使ってください)

***省略**

学生にとっては、まずは、飲食店が接点であり印象なのかなあ…湘南台。

表題:[mirai2011:116]Re: <進行> 湘南台のコンセプトづくり~こんなのが出てきました

日時:2009/12/24(木) 18:32:18

数年前、初めて湘南台の駅から SFC へバスで行き、慶應義塾大学藤沢市民講座を受けに行ったとき、SFC のキャンパス内を歩き回りました。その時、5 年前に数日間、サンフランシスコから電車で

バークレー市にあるカリフォルニア大学バークレー校に通った時のことを思い出しました。雰囲気は少し似ていました。

バークレー・ヒルズにある巨大キャンパスですが学園都市です。町中が「バークレー(学生や市民はバークレーと発音していました)か UCB」一色です。コンセプトは”Fiat lux”(Let There Be Light)『そこに光あれ』でした。湘南台もあんな雰囲気になったら素敵だろうなあ と便りを読んで思いました。

表題:[mirai2011:122]Re: <進行> 湘南台のコンセプトづくり～こんなのが出てきました

日時:2009/12/27(日) 17:56:06

今年も残りわずかですね私も日常的に湘南台を利用していますので話題に加わせていただければと思います。

ソースがちょっと見つからないのですが、慶應の学生の7、8割は自宅からの通学だと聞いたことがあります。そうすると、授業後に友人たちと利用する飲食店くらいしか、なかなか地域との接点を見つけにくいのが現状なのかな、と思います。それ以外、なかなか学生にとっては地域と関係するメリットが見つけないのが、現状なのでしょうね…。

すこし、らしさの話とは外れてしまいますが…湘南台の場合、学園祭の実行委員会やイルミネーション・キャンドルナイトなど学生が積極的に関係している地域活動がたくさんありますが、どこも人手不足に苦しんでいるようです。常識的に考えると、大学生や若者たちにとって、地域活動って割に合わないですね。まじめにやればやるほど、膨大な時間と労力が必要な地域活動。同じだけの時間と労力をアルバイトにさけば、どれだけ稼げるかと考え始めたら、大概の人はアルバイトの方に向かってしまいそうな気がします。楽しいことも他にたくさんありますし。

そこまでして学生や若者が地域に関わらなくとも…というご意見もあるでしょうが、それでもフルタイムで働く社会人と比べたら、地域に関わる時間もありますし、地域の人材的な資源として、もっと活躍の可能性があるのだと思います。それに、学生にとっても経験と教育の場として、地域社会はとも可能性が、ある場所なのだと思います。

自分も学生時代に地域活動から多くのものを学ばせてもらいました。

個人的な意見ですが、湘南台がそんな学生たちの力や可能性を生かす場であり、それが地域にとっても、活力になっている、そんな街になったら、それが、湘南台らしさになったら、とっても素敵だなと思っています。以上、乱文を失礼しました。

=====

表題:[mirai2011:107]少し委員の声が見え始めた第5回100人委員会

日時:2009/12/14(月) 01:28:46

送信者:内藤 繁

12月12日(土)1時から湘南台市民センターの体育館で、第5回100人委員会がありました。というか、その日の午前中、100人委員会の委員の知人に偶然会ったら、今日傍聴に来るんでしょ、と言われ、わかったんです。以前の資料のどこかには日程は書いてあった気もするが、100人委員会の

ページには今回の日程は書いて無い。

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kikaku/page100161.shtml>

会場についたが、今日は「基本構想の第1次素案」について話し合うはずだが、その、委員には事前に郵送されているはずの基本構想の第1次素案が、私を含む傍聴者には配布されず、スタッフらしい人達に話すと、どこかから持ってきて頂き、私はなんとか手に入れる事が出来た。

それはA4で40ページあるので、確かに委員以外には配布は難しいかもしれないが、市のホームページ上でも、100人委員会や総合計画審議会のページには見当たらなかった。パブリックコメント募集のページにはリンクがあったが。

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/content/000294697.pdf>

今回は、都市計画審議会との合同協議、という事で、都市計画審議会の委員30人ほども、司会の横に列に座っていた。傍聴者は、市職員の人が10人ぐらい居たか、あと、市民の傍聴者数人。

今日は市長が最初に挨拶した。市長は、この総合計画を、市の憲法、という言葉で評していた。その言葉は、自治基本条例案の策定の時にさんざん使われていた事を思い出したので、その策定に関わった市民には複雑な思いがしたと思う。また市長は、こんなに市民を集めて総合計画を作る作りかたは他には無い、というように、やや自慢げに語っていた。なお演説の長さは、私が今まで見た市長の挨拶の中では、2分程度と簡潔だった。

そして、100人委員会の委員が、20数個のテーブルに分かれ、基本構想の第1次素案についてのグループ討議。これが20分間ぐらいだったか。これには審議会の委員もテーブルの間に立って、100人委員会の委員達の議論を聞くよう促されていた。テーブルの間に中に積極的に入って行って、話を聞いている審議会の委員も居たが、一方、こんな時に審議会の委員同士で延々と立ち話している光景もあった。なお、傍聴者の私も、テーブルの間に立って100人委員会の委員達の議論を聞く事は許されないか、と責任者らしい人などに聞いてみたが、残念ながら断られた。

まったくこのグループ討議というものは、一般市民の傍聴が不可能なのをゴリ押しするために、考案されたものなのかもしれない。

そして、その20数個のテーブルの、テーブルごとの意見発表に移った。メモしてある発言などを書きます。

基本構想について、もうちょっと焦点を絞って。若い世代の意見や住んでない人の意見を。もっと分野別にまとめる。青少年を育成するための拠点を。防災や環境などの周辺市町村との連携は市民レベルで。待機児について。このあたりで委員から、本日は基本構想について議論であって、基本計画についての議論ではないという、運営についての意見も出た。

この基本構想は、頭に入りにくい。前回の基本計画の2020の、ここがこうだからこうだ、という議論になっていない。

この基本構想は、もっと親しみを持って読める文に。「市民力」という言葉はわかりにくい。無償で市に協力させるための言葉？「文教地域」という言葉が無い。「私たちの政府」ではなく「私たちの藤沢」に。前回の基本計画の2020の反省点ともっと伸ばす点を、もっとはっきりすべき。「地域責任」の意味が明確でない。2020をチャラにするなら、当時の予想と現実との乖離などを総括を。

「市民力」という言葉の定義をはっきりと。今まで、意見を集める事についてばかりで、今日初めて総合計画について意見が言えた、我々は素材を持ってきて、審議会が調理する、などという事はおかしい。意見を集めるのは市役所が行うべき。

そして、意見発表は終り、最後に、会長だったか、100人委員会の委員は審議会の委員と同様に思っている、という感じに持ち上げ、こんなに市民を集めて総合計画を作る作りかたは他には無い、という感じに、市長同様に自らの決めた方針を擁護していた。

その後、休憩をはさんで地域ごとのグループ討議に。ここで用があり私は帰りました。

まあこんなところですか。感想を。

まず、新総合計画はなぜ必要なのか、本当に必要なのか、この議論のプロセスが、必要と決めた市長以下市の幹部には足りていても、100人委員会を含む市民には不足している事。

そして100人委員会の委員に対しては、何の権限があるのか、はっきりしてない事。

審議会の委員の側から、審議会の委員と同様に思っている、100人委員会の委員に審議会への発言権などの、審議会への権利が無い状態では、強い立場の審議会の人から、意見を尊重していると思われているだけ、に。

「私たちの政府」という言葉は、確かに危険だと思う。藤沢市を政府と呼ぶ事により、現在の政府が保障している事になっている基本的人権まで、カットされる方向にこの言葉が使われかねない。そういえば、憲法に基づく基本的人権、など入ってない。

そして、「基本構想の第1次素案」への第一印象。どうも、市民力、地域力、という言葉ばかりで、たとえば、行政の責務、市民の権利、という事がほとんどうたわれてない。やはり、社会的に強い立場の人達の視点で作った、という印象は否めない。

表題:[mirai2011:108]少し委員の声が見え始めた第5回100人委員会 訂正

日時:2009/12/14(月) 01:36:07

[mirai2011:107]少し委員の声が見え始めた第5回100人委員会

訂正します。

- > 今回は、都市計画審議会との合同協議、という事で、
 - > 都市計画審議会の委員30人ほども、司会の横に列に座っていた。
- 都市計画審議会ではなく総合計画審議会でした。失礼しました。

表題:[mirai2011:110]情報ありがとうございます。

日時:2009/12/15(火) 22:33:17

傍聴した情報と感想ありがとうございます。

資料を見ての感想ですが、私も市民力と地域力の定義と具体的なイメージがわかりませんでした。言葉はきれいなのですが、具体的にピンとこないと思います。チャンスがあれば私も直接参加してみたいと考えています。

表題:[mirai2011:113]基本構想素案についてのパブリックコメントと、第6回の日程など

日時:2009/12/20(日) 22:11:35

ご参考にして頂き、光栄です。

運営委員というのは、市民電子会議室の運営委員の事ですね？

よろしく申し上げます。私は、傍聴席の左端に座っていた者です。

> 言葉はきれいなのですが、具体的にピンとこないと思います。

そうですね。私は、素案は複数用意して、それを市民委員が投票で選ぶ、などしてもよかった、と思うんですがね。起草部会が作っただけという、藤沢産といえるのかどうかわからない素案を原料にして始まり、それに藤沢市の市民委員や藤沢市民からの意見や気づきという、藤沢産の調味料で味付けしたからといって、藤沢ならではの基本構想になるかどうか、については、注意深く見守りたいところですよ。

その第一次素案についてのパブリックコメントが、募集中ですね。

2010年(平成22年)1月13日(水)まで、という事です。

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kikaku/page100168.shtml>

第一次素案は、

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/content/000294697.pdf>

> チャンスがあれば私も直接参加してみたいと考えています。

次の第6回委員会・総合計画審議会との合同協議、の日程なんですが、地域経営戦略100人委員会は、どうも担当課がてんでこ舞いになってしまったのか、11月21日からホームページが更新されていませんが、第2回の資料に、載せているのを発見しました。

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/content/000292140.pdf>

によりますと、

> 第6回委員会・総合計画審議会との合同協議(1月24日(日)午後1時～) @労働会館

> <基本構想の再確認>総合計画の基本構想第二次素案について、策定の経過と内容の確認と行います。

> <「ふじさわ未来課題」の整理>これまでの話し合いを参考に、「ふじさわ未来課題」の絞込みの準備を行います。

労働会館ですから、藤沢と藤沢本町の真中ぐらいですね。

=====

表題:[mirai2011:109]傍聴感想／総合計画審議会と地域経営戦略100人委員会との合同協議

日時:2009/12/14(月) 08:36:57

12月12日(土)13時から15時まで、湘南台文化センターで開催された「藤沢市総合計画審議会と地域経営戦略100人委員会との合同協議」、傍聴しました。

傍聴して感じたことを独善的で勝手に、分類もしていないのですけれども、しかし、記します。多々傾聴に値しない部分があること、容赦ください。

・一般傍聴者への案内と注意点はしっかり伝えて欲しい。

例: 飲食は可能なのか。席を立ててグループ討議を聞いても良いのか規制しているのか。委員への配布資料は要求しても良いのか規制しているのか。資料及び会議のやりとりは事後公開をするのか、しないのか。それとも一般傍聴を予定していないのか。

・発言録は、紙として、要旨と発言フルバージョンの作成／公開とともに、肉声録音して公開する試みを検討しては、どうか。雰囲気伝えることは有用。

・会議の趣旨を説明／伝達することに時間をとられているのは、残念。

説明は簡潔を旨としていたが、参加する委員には事前に会議趣旨を理解させるための環境醸成がもっと必要です。議論の時間と発表の時間は、時間の制限を設けるのは理解したが、優先確保を旨としたい。

・司会／進行役が求めるものを参加している委員の皆様へ浸透させることと、多人数から意見を聞くのであれば、時間配分や発表される内容に対する司会／進行役からされる意思表示には、きめ細やかに配慮を要します。

・過去に作成された計画、現在ある計画について、計画名、現在の扱いを明らかにして、また、本計画との関係を記して、そして、総括が必要なのは自明。総括内容は、反省する事も評価出来る事も、漏れなく網羅したい。

・個人の見識の発露をどう受け止めるのか、どう整理するのか。

様々に多様な藤沢市感が吐露されているから、構想文と今後の計画文に落とし込む、溶け込ませる際の主催側の文書作成力を問われている。

・学校機関を通じて小学校、中学校の子供達の意見を求めるのに委員や地域団体から行う事は、一見、合理的と見えそうだが違うと思う。これって、手間ひまの負担をどうしているのかになっている。主催側事務局が機械的に依頼をすることでは、足りないものなのか。

・依頼を受けた小学校や中学校の先生方は困惑しないのか。

先生が趣旨に反対することはないと信じるが、この依頼を授業の一環で書かせるのか、それとも家庭学習の範疇で書かせるのか。依頼背景の説明は、委員と地域団体の見識で行うのか。

・学校内の掲示板に貼る事と一緒に、あれば子供達の意見は先生を通じて地域の委員に取り次いであげますよ、の類なのでしょうか。

・学校機関へのお願いは、地域にいる委員や地域団体の人を通じて行うことに価値を見いだしているのか、意見の汲み取り方法は委員なり地域団体なりの考えで判断して欲しい、必要なら自分でやってください、との位置づけなのか。

・今回の試みている全ては、試行錯誤の一つ。見守ることも肝要か。

また、主催事務局からは、委員や関係団体からの要望に対して、相談に乗り窓口開設を検討したいとの前向きな意思表示は、評価出来る。

今回の会議に携わっている全ての関係者、委員の皆様のご尽力に敬意を表します。

気づきの点、頂ければ幸いです。長文失礼しました。以上。12月14日送付

表題:[mirai2011:111]情報ありがとうございます。

日時:2009/12/15(火) 22:42:39

傍聴記録ありがとうございます。

学校への意見聴取の仕方など、改善の余地がありそうですね。総合計画は長期的な計画だとは思いますが、もっとすぐできることをどんどん実行していくことが大事ですね。まずは3年計画でやることを決めていって欲しいと思いますね。これからどうやって関わっていこうかと思案中です。

表題:[mirai2011:112]Re: 情報ありがとうございます。

日時:2009/12/17(木) 12:45:38

コメントを頂き、恐れ入ります。

構想案の内容に触れていない、本質のない感想を披露したので、反省しています。会議の方法論に偏りすぎている。

関わり方について、思案をしている姿勢をお持ちのことに敬意を表します。市政に対する眼差しを向けているなかにあって、塩澤様においても様々に考えを巡らし、試行錯誤をして、それを実行に移す事は、極めて重要です。私が注意したいとするのは、大衆迎合的側面が強まる意見に向かうことです。それは、民意が全てではない案件もあると思うからです。

何にしても、自分の吐露する意見が、金科玉条のごとく全てではないのであって、しかし、注意を払って意見を修正するのか、あるいは元の意見を変えずに押し通すこととするのか、選択していく、でも決めれば、傾注していく。

マニュアルはありません。自己の持つささやかかも知れない見識と他の方の見識を読んで、悩み考えていくしかない。

とは言っても、意見を反映させるに段になると、何かにつけ制約がこれあり、なので、決め方に多数決原理が導入されることは受け入れていく。成熟度、民度の話。

受け入れは是対ダメもあり得るわけですけど、その場合でも、その意見の場合に得られることと、得られないことの公益と私益について、比較考量を試みて、提示する事が肝要かと。

僭越ながら、引き続き意見を提示して磨き上げる＝ブラッシュアップすることに臆することのない態度や意思表示をお願いいたします。

私も微力ですが、そのように心がけて進めたいし、臨みます。以上になります。12月17日送付

=====

表題:[mirai2011:117]みんなで江ノ島の灯台に上がったらいいなあ。

日時:2009/12/24(木) 18:38:23

今日はクリスマスイブ。江ノ島の灯台のイルミネーションが誇らしげにとってもきれいに輝いて、、、。藤沢の大切な財産ですね！藤沢市民でよかつたって思ったりしています(笑)。

灯台からの眺めもさぞきれいでしょうね。ヨットハーバーでもあちこちのヨットがきれいに飾られているのでしょうか。展望台からの眺めも夜の顔はまた昼間と一味もふた味も違って幻想的なのでは。もちろんお天気の良い日の展望台からの眺めもそれは素晴らしいですが！

この灯台の展望台にはすでに車いす用トイレも備えられていますよね。エレベーターに乗って上がればそこは 360 度見渡す限りの別世界が待っています！ けど、、、。灯台の入口まで来るのに、エスカレーターは上りだけ、それもトビトビにあるだけで。なんとか「行きはよいよい帰りは怖い」で、行ければいいんだけど、江の島神社から先は石段で車いすやベビーカーではとても上れないんです、帰りはもう絶望的。灯台を新しく建て替えた時に工事機材を運ぶため、ヨットハーバーあたりから、江の島の上までロープウェイが付けられていました。ロープウェイがついたら、車いすの人も杖をついてる方も赤ちゃん連れの方もみんな誰もが安心して上れますよね。だって車いす用トイレもあるのでトイレの心配もないし、エレベーターもあるので展望台だってエレベーターでひとつ飛び！ 30 年後の江の島の灯台はどうなっているのでしょうか。92 歳の私も展望台から富士山や相模湾、伊豆半島、三浦半島などなど見ながら「長生きはするもんですねえ」なあって言ってるかなあ？ やっぱり藤沢住民でよかったと幸せをかみしめながら。江の島にロープウェイを！ 水族館から灯台へと行き来できるとしたら海を眺めながら行けるってこと？ 観光の目玉にならないかなあ。クリスマスイブにサンタさんがロープウェイのプレゼント、なんてないかなあ。ずっと心に温めている願いです、いつか聞き届けられますように。息子や、みんなに観てもらいたい、私の大きな夢、大きな願いです。

表題:[mirai2011:118]Re: みんなで江ノ島の灯台に上がれたらいいなあ。

日時:2009/12/24(木) 21:10:56

クリスマスプレゼントのような素晴らしいメッセージありがとうございます。

藤沢の未来に江の島の灯台以上の輝きを持った光が見えたような気分になりました。

12月24日 PM8:50

表題:[mirai2011:119]みんなの江ノ島！

日時:2009/12/26(土) 09:32:13

小さな(?)夢を読んでくださりありがとうございました。江ノ島の灯台に上ってみたいと思った時に、誰もが足を運べたらどんなにいいでしょう。同じ市内にありますし、誰もが行きたければすぐ行ける江の島灯台と思われてる方もおいでかもしれませんが、灯台の下まで上って行く手段がないため行けない人も居るんですものね。いつの日か、息子たちがお仲間たちが行けたらと夢見ています。私には、子供の時に遠足で、また家族や友達と出かけた思い出いっぱい大好きな江ノ島です！ みなさまにもきつというんな思い出が。。。藤沢市だけでなく全国みんなの財産、江の島を未来に大事に残していきたいですね。

表題:[mirai2011:120]みんなで登れたらいいですね！

日時:2009/12/27(日) 11:00:44

残念ながらクリスマス時期には江の島に行けなかったのですが、10月頃に灯台の上から周辺の景色や富士山も見えて、夕陽が沈むのを眺めることができ、とても感動しました。ぜひ大勢の方に、あの感動を味わってもらえたらと思います。正月の初日の出は見にいこうかと思っています！

これから、江の島をはじめ、湘南地域に交流人口を増やすには、誰でも登って見られるようにすることも大事ですね。単独では、経済的に見合わないこともかもしれませんが、地域全体をバリアフリーですべての人に優しい形にしていきたいです。

話題は変わりますが、藤沢駅北口なども階段ばかりでとても歩きにくいと感じています。

表題:[mirai2011:124]Re: みんなで登れたらいいですね！

日時:2009/12/28(月) 09:01:35

メッセージとっても心が温まりました。私は藤沢住民ではないので江の島の灯台にまだ上ったことがありません。在学中には必ず見てみたいです。四季折々の風景が楽しめそうですね。友人は灯台から江の島の花火を見たと言っていました！！

> これから、江の島をはじめ、湘南地域に交流人口を増やすには、誰でも登って見られるようにすることも大事ですね。単独では、経済的に見合わないこともかもしれませんが、地域全体をバリアフリーですべての人に優しい形にしていきたいです。

そうですね。私たちからは当たり前のことでも、灯台からの景色を見たくても見れない方たくさんいるということに気づかされました。ロープウェイとても素敵なアイデアだと思います。絶対観光の目玉になると思います。実現できないのかなあ。全ての人に優しい藤沢にしていきたいです。

表題:[mirai2011:126]夢を見続けていきたい、いつか夢がほんものに！

日時:2009/12/28(月) 16:12:49

いろいろ気づいてくださったこと、ほんとうにありがとうございます。ロープウェイの応援メッセージも感謝です。

江ノ島の橋を渡らずに海の上をロープウェイで上っていくっていうのを思い浮かべて見るだけでもいいなあと思うのですが、、、お金をかけてそれだけの集客があるのか、元を取れるか、潮風だしメンテナンスの費用は、ましてこの時代に等など。現実をみるとなかなか、、、ではあります。私が市長さんだったら？ウン、どうこたえるのでしょうかね(笑)。でも、多くの皆さんと夢を共有できることが、まずはうれしいです。すぐではなくても、ウン十年後(?)技術ももっと進んでいますし、夢ではなくなる！みんなに優しい藤沢に、住んでよかった藤沢に、遊びにきてよかったと言ってもらえる藤沢に、みんなで知恵を出し合っていけたらいいですね！みなさんに夢を聞いていただけたこと、お返事をいただけたこと、とっても嬉しいです！会議室に書き込んでみてよかったあ！

これからもどうぞよろしく願いいたします。

表題:[mirai2011:125]大勢の方に、あの感動を！←夢がかなえられたらいいなあ！

日時:2009/12/28(月) 16:07:54

> 夕陽が沈むのを眺めることができ、とても感動しました。ぜひ大勢の方に あの感動を。

わかります、光景が目には浮かぶようです。まさに大自然からの恵み、財産ですね。

> 湘南地域に交流人口を増やすには、、、

市内だけでなく遠くからも遊びに来ていただけたらいいですね。江ノ島水族館など人気ですし、夏は花火大会や海水浴にあちこちから来られますし、お正月は江の島神社に初詣とか(鎌倉八幡には負けるけど)。鎌倉から江ノ電で足を延ばして、江の島のロープウェイに乗って灯台へ、、、。夕陽をみながら「江ノ島しらす丼」を食べてなんて、コースもあったら(笑)。今まで行きたかったけど、ようやく来られたなんて方の喜びのお声が聞こえてきたらこんなにうれしいことはありません。夢が膨らんでます、素敵な初夢、みられるかな？

> 藤沢駅北口なども階段ばかりでとても歩きにくいと、、、。

藤沢駅北口(市役所寄り)に、新しくエレベーターがついたのですが、まだあまり知られてないのかもしれないですね。今までは江ノ電や小田急湘南台方面から市役所などに行く時にはルミネを通ってさいか屋まで出た後エレベーターに乗り、1階で降りてからバスターミナルを横切って市役所や税務署などに向かう、このルートは車椅子ではとても遠回りでした。本当に楽になってきてる気がします。多くの方に北口エレベーターができたことを知っていただけたら。あちこち、少しずつですが、動きやすくなってきた気がしています。駅の周りも段差が解消されてきていて車椅子の動きもずいぶん楽になってきました。もっともっと良くなって行くといいですね！

表題:[mirai2011:127]Re: みんなで江ノ島の灯台に上がれたらいいなあ。

日時:2009/12/29(火) 14:08:35

> 灯台を新しく建て替えた時に工事機材を運ぶため、ヨットハーバーあたりから、江の島の上までロープウェイが付けられていました。

灯台を作る時ロープウェイが付けられていたのですか、知りませんでした。

> ロープウェイがついたら、車いすの人も杖をついてる方も赤ちゃん連れの方もみんな誰もが安心して上れますよね。だって車いす用トイレもあるのでトイレの心配もないし、エレベーターもあるので展望台だってエレベーターでひとつ飛び！

エレベーターでひとつ飛びもいいですね。私も考えてみました。現実的なものですけど、車椅子の方と年に何回か一緒に江の島灯台に登ろう！イベントなどあったらいいなと思います。うちの母も腰が痛いといってます、いつまで階段のぼれるかわからないでも江の島の風景はいつまでも見せてあげたい風景です。みんなで助け合って、階段や登りにくいところをクリアしていく・・・階段をスロープみたいに作る案など考えたり。思いは膨らみます。

表題:[mirai2011:128]みんなの知恵が集まったら、きっといつか灯台へ！

日時:2009/12/29(火) 21:07:41

> 灯台を作る時ロープウェイが付けられていたのですか、知りませんでした。

もしかしたら正式にはロープウェイという名前ではないかもしれませんが。人が乗るといっているのではなく機材を運ぶためのものだったと思いますので。

> 車椅子の方と年に何回か一緒に江の島灯台に登ろう！イベント、、、。

以前、バリアフリー会議室でも江の島神社経由で車いすを4人で抱えて上ったことがありますが、

やはり翌日は筋肉痛で大変でしたしご本人もお疲れだったようでした。何人もが交代しながらでないと、それにこの時は手動の車いすだったのですが電動車いすだったら重量もあってとても無理かと思います。でも「車いすで富士山に登ろう」って言う企画もどこかであったので、多くの方が参加してくださったら、大丈夫かなあ？

>うちの母も腰が痛いといってます、いつまで階段のぼれるかわからない、お母さまも腰痛とか、私も同じくです。膝の具合が悪い友人もいますし、だんだんあちこちガタが来る年齢になりました(ちなみに団塊の世代です)。でも、誰もが高齢になっても安心してあちこち出歩けるといいですね。灯台からの景色、とっても素敵ですから一人でも多くの方に、、と願ってます。お母様、お大切になさってくださいね(やさしいお嬢様がいてお幸せですネ)。

みんなの知恵が集まったら、きっといいアイデアも生まれてくるかも。。。藤沢の一人ひとりが、みんなのことをみんなで考えていくことで、藤沢の街が今よりもっともっとやさしい街になっていきますね！30年後が楽しみです。そのためにも、今、私に何ができるかなあ？考えてみたいです。

=====

表題:[mirai2011:129]あけましておめでとうございます

日時:2010/01/03(日) 23:26:04

昨日、今日と箱根駅伝が藤沢市内を駆け抜けていきましたね。去年は遊行寺の坂で応援していたのですが、今年はテレビで応援してしまいました。

藤沢駅には、駅伝応援にくる人で結構な人出になっていたのも、こういうイベントも重要ですね。

新総合計画の基本構想について、パブリックコメントの期限が来週までなので、自分の今週の課題としています。これからも色々とディスカッションができるといいですね。本年もよろしく願います。

P.S. 海老根市長のマニフェスト自己評価が発表されていたので関心をもって見てみました。できたこと、できなかったことが率直に書かれていて、今後の検討課題もまだまだあるなあと感じました。実現されるように応援したいと思っています。
